

平成28年度 栄養教諭を活用した食育推進事業 報告書



大分県教育委員会

はじめに

現在、本県の児童生徒の健康課題のひとつとして、肥満傾向児の出現率が全国平均と比較し、高いことが挙げられます。生涯にわたる健康づくりの基盤を形成していくためには、食習慣、生活習慣、運動習慣を関連付けた指導が必要となります。

なかでも、望ましい食習慣の形成や食に関する自己管理能力の育成には、食育の中心的役割を担う栄養教諭の役割が不可欠で、その期待も大きいものがあります。

大分県教育委員会では、栄養教諭を活用し、学校教育活動全体を通じた食育推進を図るために、平成25年より「栄養教諭を活用した食育推進事業」を実施しており、今年度は、杵築市、臼杵市、九重町の3地域において本事業を実施いたしました。実践中心校においては、実践事例報告会を開催していただき、地域内のみならず、県下から多くの方々に御参加いただき、広く県内に取組を発信することができました。

本報告書は、各実践中心校における食の課題を明確にし、設定したテーマに基づいて取り組んだ実践内容を取りまとめたものです。本報告書の取組事例を参考にし、各学校や市町村での食育がさらに推進されることを期待いたします。

結びに、御協力いただきました各推進地域実践中心校の皆様並びに関係各位に対し、厚く御礼申し上げます。

平成29年3月

大分県教育庁体育保健課長

井上倫明

目 次

はじめに

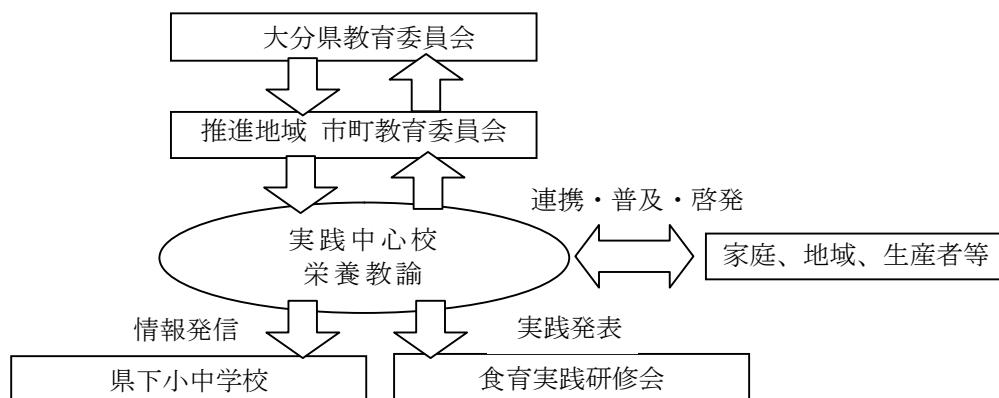
1 事業の取組	1
2 各推進地域の取組	
(1) 杵築市立杵築小学校の取組	3
(2) 臼杵市立市浜小学校の取組	8
(3) 九重町立野上小学校の取組	13
3 実践事例報告会指導案等	
(1) 杵築市立杵築小学校	18
① 第1学年3組 学級活動学習指導案	19
② 第5学年3組 家庭科学習指導案	22
③ 食に関する指導の全体計画	25
④ 食に関する指導の年間指導計画	26
(2) 臼杵市立市浜小学校	28
① 第3学年 国語科学習指導案	29
② 食に関する指導の全体計画	38
③ 学校給食年間指導計画	39
(3) 九重町立野上小学校	40
① 高学年 学級活動学習指導案	41
② 食に関する指導の全体計画	44
③ 食に関する指導の年間指導計画	45

1. 事業の取組

1 趣旨

栄養教諭を活用し、学校、家庭、地域が連携して学校教育活動全体を通じた食育推進が図れるよう、食育推進事業を実施し、県内の関係者に対して実践的な取組の内容について普及・啓発を行い、もって子どもの健康の保持増進をはじめとする食育の充実に資するものである。

2 事業の実施体制



3 事業の内容

(1) 推進地域における研究実践（具体的な取組内容については別掲載）

○杵築市

* 実践中心校 杵築市立杵築小学校
テーマ1：食に関心を持ち、より豊かな食生活をおくろうとする子どもの育成
テーマ2：給食を活用した切れ目ない食育の実践

○臼杵市

* 実践中心校 臼杵市立市浜小学校
テーマ1：教育課程に基づき、栄養教諭を活用した食に関する指導の取り組み
テーマ2：栄養教諭を活用し、臼杵市内の食育を推進する組織的な取り組み

○九重町

* 実践中心校 九重町立野上小学校
テーマ1：九重町内の各学校の食育を推進するための方策
テーマ2：校内で組織的に取り組む健康教育のあり方

(2) 実践中心校において公開授業を実施

○杵築市立杵築小学校

期日：平成28年11月25日（金）
【第1学年3組 特別活動】
題材「きゅうしょくのひみつをみつきたい」
【第5学年3組 家庭科】
題目「朝から元気の出るみそ汁を作ろう」

○臼杵市立市浜小学校

期日：平成28年11月17日（木）
【第3学年1組 国語科】
題材「すがたをかえる大豆」

○九重町立野上小学校

期日：平成28年9月27日（火）
【第5学年・第6学年 学級活動】
題材「歯の大切さ」

(3) 平成28年度大分県学校給食振興大会（大分県食育実践研修会）における実践発表

○各実践中心校の教諭と担当栄養教諭による実践発表を行った。

発表者

杵築市立杵築小学校	：教諭	原田 雅美
	栄養教諭	岡田 清美
臼杵市立市浜小学校	：教諭	小野 薫
	栄養教諭	山本 桃子
九重町立野上小学校	：教諭	合原 正幸
	栄養教諭	衛藤 ひろ子

4 事業の成果

- 栄養教諭、学級担任、養護教諭及び体育専科教員等、それぞれが連携した実践が多くみられ、学校全体で食育を推進する体制を示すことができた。
- 実践中心校における実践事例報告会では、市町教育委員会の御協力のおかげで、多くの学校から参加があり、地域内への食育の広がりが期待できる。
- 大分県学校給食振興大会（大分県食育実践研修会）において、実践中心校による実践発表を行った。栄養教諭だけでなく、教諭とともに発表をすることで、教職員が連携をして食育を進めていくことの必要性を知らせることができた。

5 今後の課題

- 本事業を実施し5年が経過した。それぞれの地域や学校の課題に即した内容で取組を行い、延べ15市町で実施することができた。
今後は、児童生徒の生涯にわたる健康づくりを目指し、県の健康課題に対する取組を行う必要がある。
- 食育の取組を各地域で広げるために、引き続き市町村教育委員会に対し、本報告書の活用を呼びかけていきたい。

2. 各推進地域の取組

推進地域 杵築市 : 実践中心校 杵築小学校

1. 具体的取組等について

テーマ1 食に関心を持ち、より豊かな食生活をおくろうとする子どもの育成

○食生活実態調査を行い、起床時間、就寝時間、朝食の喫食等の生活習慣の実態を把握した。

○食に関心を持ち、より豊かな食生活をおくろうとする子どもを育てることを目的として、食を通して人と人のつながりを再認識していくことができるような学習や指導・支援を教育活動全体の場で仕組んだ。

授業を中心として食育に取り組みながら、学びを「自分事」としてとらえさせるために給食を教材化し、担任と栄養教諭等が連携した授業づくりを行った。提案授業を、職員全員が1時間とおして参観することは難しかったが、短時間でも見て、気がついたことや、疑問点、アドバイスなどを付箋に書き、拡大した指導案に貼り授業を振り返るように工夫した。まともを指導教諭が通信にして全職員に配り、校内研修で振り返り、成果や課題を共有できるようにした。

校内研修の資料より

互見授業をふりかえって



1学期からの食育授業の実践から言えそうなことをいくつかまとめてみます。

多面的な
実態把握

学校での子どもの様子など担任の視点から見ること、家庭での様子、保護者の意識、専門的な視点から担任の視点からは見えにくいことがあります。

「専門性」は
驚きが大事

「えっ、そうなの？ そうだったの？」という、日常から気づけなかった「驚き」が、授業や授業後の取組の意欲を高めます。

学校給食は
「生きた教材」

「給食から学ぶ」「給食につなげる」が、発達段階に応じたものであることが大事です。実態把握とのつながりも大事です。

日常生活に
つなげること

給食時の様子に変化が出るように、家庭での様子に変化が出るように意識することが大事です。

どの授業実践も、担任、栄養教諭、栄養職員との連携の賜物です。「教科横断的に！」という言葉を目にするがありますが、「つなげて考える」「つながるように取り組む」ことは、今後一層必要になるのかなと思います。

《 学年ごとの主な指導の内容 》

低学年〔食に関する興味・関心をひろげる〕

1年生・・・地域の食べもの、地域の働く人、食べものの命について学習
(生活科 学級活動 道徳)
提案授業：学級活動「きゅうしょくの ひみつ みつけたい」

ちりめんのひみつをさがそう



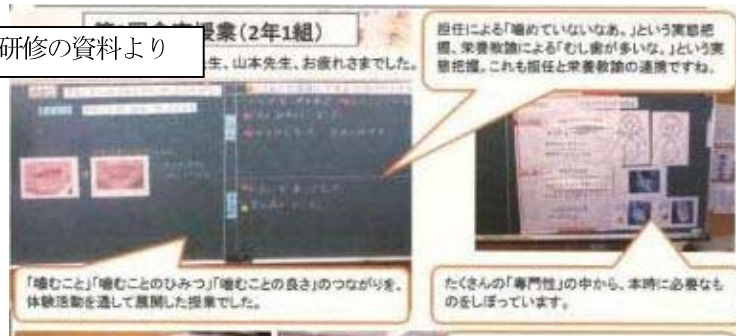
2年生・・・よくかんで食べることのよさ、おやつについて学習 (生活科 学級活動)

提案授業：学級活動「かむことの ひみつを さぐろう」

かむとどんないいことが？



校内研修の資料より



中学年〔食に関する生活場面をつなげる〕

3年生・・・健康に過ごすための生活のしかたについて学習（ 体育 学級活動 給食指導 ）
 提案授業：学級活動「すききらいなく食べるよさを知ろう」

4年生・・・体をよりよく成長させる生活のしかたについて学習（ 体育 学級活動等 ）
 提案授業：体育「すこやかな成長のための食事を考えよう」

献立表を教材に



生活場面につなげて考えよう



高学年〔食に関する学びをためてみる〕

5年生・・・食べることの大切さについて、栄養素のはたらきについて、ごはんのみそ汁の調理について学習
 （ 家庭科 学級活動 給食指導 ）

提案授業：家庭科「朝から元気がでるみそ汁を作ろう」

6年生・・・楽しく食事をするための工夫、栄養のバランスを考えた献立、おかずの調理について学習
 （ 家庭科 学級活動 ）

提案授業：家庭科「家族のために朝食を見直そう」

知ること



考えること



ためてみること



次は家庭で

全学年

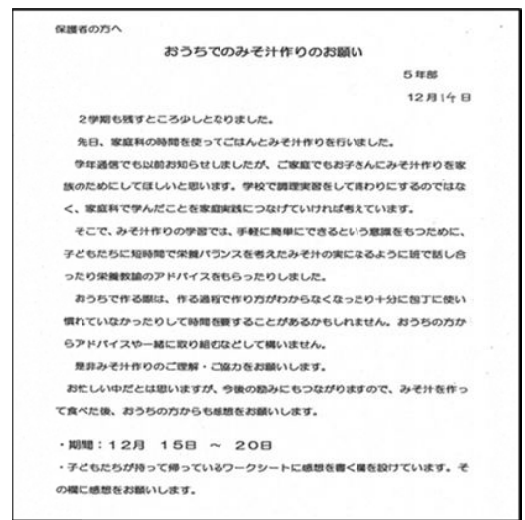
- ・規則正しい生活をする 것과朝ごはんを食べることについての指導（ 給食指導 通信を用いて ）
- ・学年に応じて学習したことをいかして家庭で手伝いをする ことへの働きかけ
 (2年生のおやつづくり 5年生のみそ汁づくり 6年生の遠足のお弁当づくり等)



もっとやってみよう!



学んだことを活かそう



○保護者に対する啓発活動

・学校通信・学級通信・食育通信 等を発行し、児童の実態や学校・学級で実施された食育について、その都度家庭に知らせるようにした。



・PTA広報部と連携し、PTA広報誌で児童の実態や学校の取り組みを知らせたり、家庭の協力を呼びかけたりした。

・食育授業の公開

・親子レクでの調理実習、親子料理教室、給食試食会の際に、食育についての講話やアンケートを実施し、食育に対する意識を高めるように努めた。

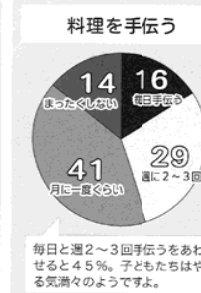
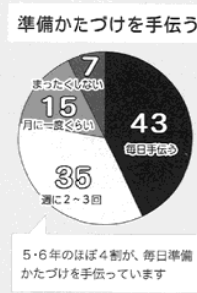
5・6年生の保護者にアンケート

お手伝いで「できる」をふやそう!



今年度の児童会のスローガンは、『全校で「できる」を増やそう 杵築っこ』です。児童会を中心に5月はあいさつ運動に取り組み、さっそく気持ちのいいあいさつが「できる」子が増えているようです。広報部でも、家庭での食に関わる「できる」に注目して、5年生、6年生の保護者を対象にアンケートをとってみました。思った以上に子どもたちはやる気十分で、お手伝いをがんばっていました。その「やる気」を「できる」につなげていけるといいですね。

食べることは一生ついてまわる大事なことです。手伝いをしながら身につけてもらいたいものです。お手伝いをよくやる子どもたち。「やりたい」「できるようにになりたい」という思いを強く持っているようです。



・朝食づくり、お弁当づくり等、授業の中で児童が家庭でお手伝いをする機会をつくり、家庭での見守りをお願いした。

「できる」がふえた!

おうちでのお手伝い
↓
できることを毎日少しずつ
家庭科などの学習
↓
こんなこともできるようになった!
おうちでのお手伝い
↓
学んだことをおうちで活かして!

《みそ汁作り お家の人の感想》

初めて一緒に料理をしました。心配だったけど上手にできました。ありがとうございます、また作ってね。授業で作ったからか、スムーズに作業ができました。朝早く起きて段取りよく作っていた。祖父、弟もよろこんでいたよ。

遠足のお弁当にチャレンジ

テーマ2

給食を活用した切れ目のない食育の実践

○栄養のバランス、地場産物の活用、郷土料理の掘りおこし、旬の食材の使用等、教材として活用できるよう献立のねらいを明確にし、意図的に献立を計画した。

- ・お茶、ちりめん、はも、しし肉、みかん、季節ごとの野菜など、杵築市の食材の旬を意識して取り入れた献立を実施した。
- ・食育の全体計画、年間計画に照らして、年間の見通しを持った献立計画を作成した。

○給食を教材として、日々の給食指導、教科・領域での食の指導を実施した。

- ・毎月、献立ごとに一口メモを作成し学級に配り、献立のねらいを伝えて給食指導を行った。
- ・月に2回程度、教科・領域との関連をふまえた指導を行うために5分間の指導案を学級担任に配布した。担任は学年に応じた指導をそれぞれの学級で行った。その際、教科横断的な食育の特徴をいかし、それぞれの学年の教科領域における食育の視点が、他の教科領域、他学年の教科領域とどのように関わりあっているかを意識するようにした。
- ・家庭科等では特に授業日前後の献立が、調べ学習に使われたり、確かめになったりするよう工夫した。

○小学生用食育教材「たのしい食事 つながる食育」を活用しながら、杵築市内の小中学校で授業を実践していく中で、教育活動全体での食育の位置づけを見直した。

- ・小学生用食育教材「たのしい食事 つながる食育」の内容に沿った食に関する指導計画を作成し、市内の小中学校に配り、指導訪問計画を立ててもらい、各校で授業を行った。中学も家庭科を中心に授業を行った。
- ・杵築市の9年間を通した「体系的な食育」の計画の骨子が、授業実践を続ける中で浮かび上がってくるのではと考えて実践をはじめ、これから次年度の計画の準備を始める。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1学期	○食事をおいしくするまほうの言葉	○食べものの「旬」	○好き嫌いしないで食べよう		○食べ物の栄養	○朝ごはんを作ってみよう
内容	・「いただきます」、「ごちそうさま」の意味を知り、食べ物を大切にすることを感謝する気持ちを育てようにする。 (感 社)	・野菜などの栽培体験や観察を通して生命や自然を尊重する姿勢を育み、旬の食べ物に対する興味・関心を高めるようにする。 (感 選)	・食品の種類やそれぞれの食品の働きについて理解し、残さず食べようとする意欲を高めるようにする。 (食 健)		・食品の体内での主な働き(3つのグループ)と五大栄養素について理解し、望ましい食事のとり方について考えられるようにする。 (健 選)	・自分や家族の朝食作りの計画を立て、材料を購入し、適切に保存したり、安全・衛生に配慮して調理や後片付けができるようにする。 (選 健 食)
教科領域・関連する教科	道徳 特別活動	生活科	体育 特別活動		家庭科 総合的な学習の時間	家庭科
2学期		○元気のもと朝ごはん	○野菜やいものひみつ ○食べものが届くまで	○昔の生活と今の生活をくらべてみよう	○食べ物はどこから	○地域に伝わる食べ物を大切にしよう
内容		・気持ちのよい一日を過ごすためには、早寝、早起きと朝ごはんをしっかり食べることが大切であることについて理解できるようにする。 (食 健)	・植物を育てる活動の中で、植物にも生命があることや成長していることに気づき、生物を愛護することができるようにする。 ・食に関わる仕事に携わっている人を取り上げ、様々な人が自分たちの生活を支えていることについて理解できるようにする。 (感 社)	・食に関わる古い道具を取り上げ、それらを使っていた頃の食事の仕方や食生活の様子を理解し、人々の生活の知恵について考えることができるようにする。 (食 文)	・外国から輸入されている食材や食品について取り上げ、食料自給率の問題など、食生活全般を振り返り、食品ロスや環境問題についても理解を深め、実生活で意識できるようにする。 (文 選 社)	・食文化が地域の伝統や気候風土と密接な関係にあることを理解するとともに探究活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育むことができるようにする。 (文 社)
教科領域・関連する教科		特別活動 道徳	理科 社会	社会 総合的な学習の時間 道徳	社会科 総合的な学習の時間	総合的な学習の時間 道徳
3学期	○はし名人になろう	○おやつ食べ方を考えてみよう	○自分の生活リズムを調べてみよう	○元気な体に必要な食事		○日本の食文化を伝えよう
内容	・はしの持ち方を知り、食器とはしを使ってきれいに気持ちよく食べることができるようになる。 (文 社)	・朝、昼、夕の三度の食事をきちんと食べることの大切さと間食のとり方について理解できるようにする。 (食 健)	・1日の生活リズムに合わせて、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることの必要性について理解できるようにする。 (健)	・体をよくよく発育・発達させるためにバランスのとれた食事をするようにする。 (選 食)		・米とみそについて調べ、日本の伝統的な食事(ごはん+みそ汁+おかず)とその配膳について理解し、自分の食生活に活用できるようにする。 (健 文 選)
教科領域・関連する教科	特別活動	特別活動	体育 特別活動	体育 特別活動		家庭科 総合的な学習の時間

食育の観点 ①食事の重要性 (食) ②心身の健康 (健) ③食品を選択する能力 (選) ④感謝の心 (感) ⑤社会性 (社) ⑥食文化 (文)

○地域との連携

- ・ちりめん等の海産物や季節の野菜などの生産者と連絡を取り合い、地場産物の使用を進めるだけでなく、授業や通信、掲示物などで地場産物を教材として活用した。

2. 数字で変化のあった事項について

「早寝・早起き・朝ごはん」の指導と、「お手伝いをしてできることをふやそう」という呼びかけを全校児童、保護者にした。朝食の喫食率はあがらなかったが、朝食に関連する項目で変容が見られた。中でも家庭科で重点的に朝食について学習した5年生については、より大きな変容がみられた。

食生活アンケート結果(5年生)比較

5月 5年

いつも、何時頃起きますか。

1	6時より前	10	10.9%
2	6時～6時30分	24	26.1%
3	6時30分～7時	43	46.7%
4	7時～7時30分	15	16.3%
5	7時30分～8時	0	0.0%
6	8時以降	0	0.0%

1・2・3の合計：7時より前におきる 83.7%

10月5年

1	6時より前	9	10.3%
2	6時～6時30分	32	36.8%
3	6時30分～7時	35	40.2%
4	7時～7時30分	9	10.3%
5	7時30分～8時	2	2.3%
6	8時以降	0	0.0%

87.4%

日頃食べている朝ごはんは、一番近いものはどれですか。

1	主食のみ	26	31.0%
2	汁のみ	1	1.2%
3	おかずのみ	2	2.4%
4	主食と汁	5	6.0%
5	主食とおかず	21	25.0%
6	主食と汁とおかずのそろったもの	22	26.2%
7	果物のみ	0	0.0%
8	菓子類のみ	5	6.0%
9	その他	2	2.4%

4・5・6の合計：主食とおかず等の組み合わせ 57.1%

1	主食のみ	24	28.6%
2	汁のみ	1	1.2%
3	おかずのみ	3	3.6%
4	主食と汁	9	10.7%
5	主食とおかず	26	31.0%
6	主食と汁とおかずのそろったもの	18	21.4%
7	果物のみ	0	0.0%
8	菓子類のみ	2	2.4%
9	その他	1	1.2%

63.1%

あなたはおうちで食事作りや片づけなどの手伝いをしますか
料理の手伝いについて

1	毎日のように手伝う	14	15.2%
2	週に2～3回手伝う	43	46.7%
3	月に一度くらい	20	21.7%
4	まったくしない	15	16.3%

1	毎日のように手伝う	24	27.6%
2	週に2～3回手伝う	37	42.5%
3	月に一度くらい	19	21.8%
4	まったくしない	7	8.0%

3. 事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について




- ・担任と栄養教諭等の具体的な連携の姿が見えてきた。
授業者が授業の素材を決定する時に多様な切り口で選定できた
児童の実態を把握している担任と専門性を持つ栄養教諭との話し合いで授業の方向性を決定していくことができた
児童が「必要感」を持ったタイミングでの栄養教諭の出番となった
- ・授業を中心とした食育の実践を通して、今後の実践につながる系統性が見えてきた。
- ・学校給食が「生きた教材」として活用されるようになった。
- ・教職員が「食育」を連携・協力して取り組む「自分事」として意識するようになった。
- ・評価基準Bの設定が食育の授業にもいかされ、何が身についたのかを確かめることによって改善の糸口が見えてきた。
- ・食の視点から児童の実態をつかむことによって、児童のかかえている「困り」が見えてきた。










4. 今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

- ・年間指導計画の見直し、内容の精査など、今年度の取り組みを次年度以降につなげるための取り組みの更なる工夫をする。どんな力をつけさせたいか、それをどのように評価するかをはっきりさせて計画することが重要である。
- ・地域や家庭との連携をさらに図り、地域ぐるみで食についての学びの場を作り、学校の学びと相互につながることをめざしたい。
- ・今年度の杵築小学校での実践や、小学生用食育教材「たのしい食事 つながる食育」を活用した市内の実践を活かし、杵築市全体で9年間を通した「体系的な食育」が計画的に実施できるよう、さらに研究を進めたい。

推進地域 白杵市 : 実践中心校 市浜小学校

1. 具体的取組等について

テーマ1	教育課程に基づき、栄養教諭を活用した食に関する指導の取り組み		
<p>(1) 食生活に関するアンケートの実施 (6月) 対象: 3~6年児童</p>			
<p><食事面について></p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・朝食を「ほとんど毎日食べる」が93%だった。また、全体の34%が「主食のみ」、全体の46%が「〇〇のみ(主食のみ、汁のみ、おかずのみ、菓子類のみ、果物のみ)」という結果であった。 ・「朝・昼・夕食を必ず食べる」が91%、「必ず三食食べるとは限らない」が6.4%で各学年に1名以上いた。 ・朝食を食べなかった時の理由として、「食べる時間がない。」「ぎりぎりまで寝ていたい。」「食べる気にならない」が多かった。 ・自分の食生活について「飲み過ぎ」「食べ過ぎ」と思っている子どもが30%近くいた。 ・自分で「好き嫌いをしている」と思っている子どもが45%いた。 ・子どもに理想の朝ごはんを尋ねた時、「〇〇のみ」とアンケートに回答した子どもは「〇〇のみ」と答え、バランスよく朝食を食べている子どもは、バランスの良い具体的なメニューを答えていた。 			
<p>(2) 本年度の取り組み</p>			
<ol style="list-style-type: none"> ①教育課程の中の「食育の年間計画」に基づいた授業・委員会活動などを、栄養教諭と連携して、全学年が計画的に確実に行う。 ②各学年の学習内容を学校から発信する通信等でお知らせをし、保護者に還元する。 ③6月と12月に行った「食生活に関するアンケート」の結果を、9月と3月のPTAで保護者に公表し、家庭と学校が協力して取り組むことの大切さを伝えていく。 ④白杵市内の食育を組織的に推進していく。 			
<p>(3) 取り組みの内容</p>			
<p>①「食育の年間計画」に基づいた授業・委員会活動について</p>			
学年	教科	題目・単元名	授業の様子
1年	学級活動	みいちゃんのたべもの のゆくえ	 <p>「赤・黄・緑の食べ物をしっかり食べて、自分で腸をそうじするといいね。」</p>
2年	学級活動	すききらいをしないで なんでもたべよう	 <p>「元気号が止まったのは、すききらいをして三色がそろわなかったからだね。」</p>
3年	国語科	俳句を楽しもう	 <p>「食べ物が夏の季語になる言葉ってたくさんあるんだね。」</p>

3年	国語科 (提案授業)	すがたをかえる大豆	 「大豆をいって、粉にひく工夫があるんだね。」
4年	体育科 (保健)	育ちゆく体とわたし	 「体がよりよく成長するためには、バランスのとれた食事が大切。」
5年	家庭科	はじめてみようクッキング	 「調理用具を正しく使ったり、火の通りやすさを考えて食材を切ったりしようね。」
6年	体育科 (保健)	病気の予防	 「グラフから、1日3回の食事を摂ることで、血糖値が穏やかに上昇することがわかるよ。」
給食時間における食育指導		○にがてなものにチャレンジ (2年) 	○食べ物の栄養を知ろう (6年) 
給食委員会		①常時活動 	②発表集会 
		③完食賞の取り組み 	

②学習内容を保護者に授業や通信等で知らせ、還元することについて

各学年の学習内容は、保護者に「学校だより」や「学年通信」、栄養教諭が発行する「いきいきうすきっこ」でお知らせをしたり授業を公開したりする。また保護者からの感想があれば、通信やPTAなどを通して、他の保護者に還元する。

【第5学年 「はじめてみようクッキング」(家庭科)】

5年生から始まる家庭科の授業に、担任と栄養教諭が一緒に授業に取り組み、特に5年1組は、5月のPTAの授業参観の時に保護者にも授業の様子を見ていただいた。

(授業者による学習の振り返り)

○エプロン等の身支度をする理由や給食調理の際の徹底した衛生管理の様子を聞くことにより、普段の給食準備の時にも気をつけるようになり、身支度がきちんと整うようになってきた。

○子どもたちは、日常生活の中でお家の人調理器具を使ったり、手際よく調理したりする様子を目にしているものの、自分自身がやってみた経験は少なかった。今回、授業の中で、栄養教諭から調理器具の名前や使い方、野菜の切り方を教えてもらって(実際に使い方も見せてもらって)、“自分もやってみたい”という意欲が増したようであった。

○担任と栄養教諭が連携することにより、短い授業の中で教科書による説明だけでなく、実物を見せたり、やってみたりする活動が加わり、子どもたちの興味関心が高まり、メリハリのある授業になった。

○家庭科で学んだことを実際に家庭で活かす活動がスムーズに行われ、家庭でよく実践してもらえるようになったと保護者から話を聞くことができた。

(保護者の反応(感想))

○普段何気なくしていること(調理器具の使い方、切り方)も、子どもは見ているようで見ていないことがわかったので、家でもっと手伝わせたい。

○給食を作る際の徹底した衛生管理がわかってよかった(家でも手をよく洗わせたい)。

○調理器具の使い方が自分流になっていたことに気づいた。

○今、子どもたちがやる気のあるうちにいろいろと一緒に作りたい。

③アンケート結果をPTAで保護者に公表し、家庭と学校が協力して取り組むことについて

6月と12月に3～6年の児童へ行った「食生活に関するアンケート」の結果を、9月と3月のPTAで保護者に公表し、食の大切さ(特に朝ごはん)についての話を全学級で行い、家庭と学校が協力して取り組むことの大切さを伝えていく。

また、栄養教諭が資料を準備し、家庭でできることを促すようにする。



(9月PTA配布資料)

④白杵市内の食育を組織的に推進していくことについて

白杵市教育指導方針の中に、健やかな身体を育てる体育・健康教育・食育・命を守る防災教育が位置づけられ、白杵市食育推進計画との関連をはかりながら、白杵市に2人配置された栄養教諭の活用が進められてきた。平成28年度白杵市体力向上アクションプランの中に、食育推進の方策として栄養教諭による訪問指導が位置づけられている。食育モデル校が市浜小学校である。

白杵市では以下の4つの取組に重点をあて、実践している。

- 〈1〉各教科等における食に関する指導の検討、授業実践
- 〈2〉給食時間における栄養教諭・学校栄養職員・栄養士・調理師の連携した巡回指導
- 〈3〉行政と連携した食育の推進
- 〈4〉うすき土曜ふれあい学校やPTA等で、家庭や地域と協働した食育の推進

〈1〉各教科等における食に関する指導の検討、授業実践について

全小中学校を対象に栄養教諭を活用した授業を行っている。昨年度体育専科教員と栄養教諭が市浜小4年生の担任と公開授業を行っており、指導案も作成されているので各学校からの派遣依頼が多く、今年度は保険健康課や子ども子育て課の保健師と連携して授業に取り組んでいる。



〈2〉給食時間における栄養教諭・学校栄養職員・栄養士・調理師の連携した巡回指導について

栄養教諭・学校栄養職員・栄養士・調理師が、給食の時間に各学校へ巡回し、食の大切さについての話をしている。



〈3〉行政と連携した食育の推進について

農林振興課有機農業推進室と連携して給食畑での収穫体験等を実施し、収穫した作物を給食に使用することで、児童生徒に地元の野菜について関心や理解を深めさせている。

また市長室、学校給食課と連携して、姉妹都市のスリランカのキャンディ市の食についての授業を中学1年生で行い、栄養教諭が専門的指導を行った。



〈4〉うすき土曜ふれあい学校やPTA等で、家庭や地域と協働した食育の推進について

白杵市では年に6回土曜日に授業を行い、保護者や地域の方が学校を訪れ、授業参観やふれあい活動を行っている。栄養教諭を活用した授業を取り入れ、家庭や地域と協働して食育の推進を行った。中学校3年生で「生活習慣病とその予防」の授業を実施し、保護者も一緒に授業を受けたので、家庭での食生活の改善に向けた協力が得られた。



2. 数字で変化のあった事項について

○6月と12月の「食生活に関するアンケート」の結果からわかったこと
 <食事面について>

- ・朝食を「主食のみ」食べると答えた児童

6月	12月
34% (87人)	21% (53人)

- ・朝食を「〇〇のみ（主食のみ、汁のみ、おかずのみ、菓子類のみ、果物のみ）」と答えた児童

6月	12月
46% (117人)	29% (72人)

- ・自分の食生活について「飲み過ぎている」「食べ過ぎている」と思っている児童

	6月	12月
飲み過ぎている	31% (82人)	19% (49人)
食べ過ぎている	30% (80人)	25% (64人)

- ・自分で「好き嫌いをしている」と思っている児童

6月	12月
45% (120人)	33% (84人)

- ・子どもに理想の朝ごはんを尋ねた時、6月と比べると「主食・おかず・汁」のバランスの良い具体的な組み合わせのメニューを考える子どもが増えてきた。また、6月には「主食のみ」のメニューを考えた子どもがバランスの良いメニューを食べたいと答えるようになった。これは、食に関する学習をした成果だと考えられる。

3. 事業全体を通じての成果

- 教育課程の「食育の年間計画」に基づいた授業・委員会活動を全学年で取り組むことができた。また、教育課程にしっかりと位置付けることで、「食育」の指導を来年度に引き継ぐこともできた。
- 教職員が栄養教諭と連携して授業を行うことに抵抗がなくなり、栄養教諭からより専門的な知識を得ようとするようになってきた。
- 児童の食に関する関心が高くなってきて、特に給食では「残さず食べよう」という姿が多く見られ、残菜が少なくなってきた。
- 授業などの内容を、PTAの授業参観、通信、facebook等で広く知らせることにより、保護者の興味や関心は高まってきた。
- 「食生活に関するアンケート」などを基に児童の実態や課題が明らかになり、栄養教諭が講師の紹介や授業に積極的に関わることで、年間を通じてねらいにそった指導を行うことができた。
- 食育の授業実践や12月の「食生活に関するアンケート」結果などにより、保護者側の立場に立った朝食の準備などについて再度考える必要性を感じた。そのため、「朝ごはん毎日食べようプロジェクト」を市浜小の教職員と臼杵市給食センター職員が1週間行い、その結果を3月のPTAの懇談資料とし、保護者に還元することにした。

4. 今後の課題

- 教育課程の「食育の年間計画」に基づいた授業・委員会活動を全学年で取り組む時に、どの活動で栄養教諭に支援してもらおうとよいかなどの打ち合わせの時間の確保をいつとるのが難しい。また本校の実践をもとに、臼杵市内の各学校へ実践事例を示し、どの児童生徒も食に関する指導が受けられるような体制づくりを進めていく必要がある。
- 食育に対する保護者の興味や関心は高まりに個人差が大きい。さらに、家庭と学校と栄養教諭が連携し、協力していける体制を考えていくことが必要である。
- 臼杵市内の学校から栄養教諭の派遣依頼が増える中で、教材準備にかかる時間などを考えると栄養教諭の二人体制が難しくなってきた。

＜他校での指導例＞

①東飯田小学校の実践 [1年生]

実施日	6月14日(水)3時間目	学年	1年生	担任	T2	教員	栄養教諭
教科	生活科	単元	たぐいのゆ はたらきをしろう				

ねらい
 ○たぐいのゆには、体の健康を守るための栄養素が入っていることを知る。
 ○三大栄養素のたぐいのゆを、香・味・色として知る。
 ○好き嫌いせず、バランスよく食べることの大切さを知る。

活動
 1. 授業の好きな食べ物、好きな匂い食べ物を出し合う
 2. 好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合う
 3. 食べ物にどんな味があるかを知る
 4. 食べ物にどんな色があるかを知る

授業の
 ・自分の目標の食べ物について意識的に発表していった。
 ・「あかべえ」などの顔文字の説明により、三大栄養素の働きを楽しく知ることができた。
 ・好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合うことで、友達と仲良く話せるようになった。
 ・好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合うことで、友達と仲良く話せるようになった。



②南山田小学校の実践 [3年生]

実施日	6月21日(水)3時間目	学年	3年生	担任	T2	教員	栄養教諭
教科	生活科	単元	元気な体について 考えよう				

ねらい
 ○バランスよく食べることの大切さを知る。
 ○好きな味付けや食べ方をする楽しさを味わう。
 ○健康に楽しく食べることを知る。

活動
 1. 元気な体をつくるために大切なことを出し合う
 2. 三大栄養素について発表する
 3. フォトワークやカードで自分の体と健康のバランスを比べる
 4. 授業でわかったこと、食事についてこれらからどうするかを考え発表する

授業の
 ・目標から健康を好き嫌いなく食べている児童が多いので、この授業に関わりが深かった。
 ・3年生の頃に「あかべえ」などの三大栄養素を学んでいたことが本時につながっていた。
 ・子どもたちが自分たちで考えた発表の準備ができていたことで、授業の進行もスムーズに進んでいった。




他校でも少しずつT Tで授業できるようになった。

南山田小学校の実践

ねらい
 ・野菜が健康な身体づくりに大切な食べ物であることを知る。
 ・野菜が健康な身体づくりに大切な食べ物であることを知る。

活動
 1. 野菜の好きな食べ物、好きな匂い食べ物を出し合う
 2. 好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合う
 3. 食べ物にどんな味があるかを知る
 4. 食べ物にどんな色があるかを知る

授業の
 ・自分の目標の食べ物について意識的に発表していった。
 ・「あかべえ」などの顔文字の説明により、三大栄養素の働きを楽しく知ることができた。
 ・好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合うことで、友達と仲良く話せるようになった。
 ・好きな匂い食べ物を出した時の対面を出し合うことで、友達と仲良く話せるようになった。



テーマ2 校内で組織的に取り組む健康教育のあり方

(1) 栄養教諭を活用した食に関する指導の実践

① PTA参観授業での食育授業 (全校)

1年	学級活動	生活リズムを整えよう ～うんちとなかよくなるよう～
2年	学級活動	すききらいをなくそう ～モリモリかいじゅうとちよびっかいじゅうをげんきにしよう～
3年	学級活動	自分の生活をふりかえろう ～たまちゃんの日～
4年	学級活動	バランスのよい朝食 ～朝食の大切さを考え、バランスのよい朝食を考えよう～
5年	家庭科	おいしい 楽しい 調理の力 ～野菜をたくさん食べるためのくふうを知ろう
6年	家庭科	自分にとってよりよい朝食 ～栄養のバランスを意識して、一食分の朝食を計画しよう～



<1年>

- ・写真やイラスト、紙芝居などを使用したので、視覚的にわかりやすかった。
- ・栄養教諭が教材を提供したり、養護教諭が授業に入ったりすることで、子どもの意欲が続くような授業の流れになった。

<4年>

- ・DVDを視聴したり、栄養教諭が直接指導に入ったりした。
- ・グループでの考えづくりに、ホワイトボードやカードを使うことで、わかりやすい活動になった。



② 「大切な歯」の取組



自分たちの歯と歯ぐきの状態がよくないことを学んだ5、6年生。全校集会で呼びかけたり、歯みがきタイムを設定したりして、縦割り班で歯みがきをする「みがくんジャータイム」に取り組むことが出来た。

③ お弁当作り（6年生）

毎年6年生は、いつも作ってもらってお弁当を、家庭科の時間におうちの人のために作って持って帰る取組を行なっている。おうちの人へのメッセージを添えて渡し、おうちの人からも温かいお返事をいただくことで、親子共々心に残る思い出作りができています。



④ 劇「いのちをいただく」の取組



・絵本「いのちをいただく」の主人公、坂本義喜さんと対話会を開いた。その後、劇にも取り組み、地域ふれあいフェスティバルで多くの人に観ていただいた。

(2) 栄養教諭・養護教諭・体育専科教員と学級担任が連携した健康教育

① Gorenジャータイムの取組



ねるんジャー・たべるんジャー・うごくんジャー・あらうんジャー・みがくんジャー

野上小健康教育のキャラクター『Gorenジャー』を活用した「Gorenジャータイム」。毎月テーマを決めて、栄養教諭・養護教諭・体育専科教員・学校栄養職員がそれぞれ専門的な立場から話をする。朝活動の10分間という短い時間だが、子どもたちはそれぞれの立場から1つのテーマについて3回ずつ異なる立場からの話を聞くことになる。



Gorenジャータイムの様子

② 保健給食委員会の活動

保健給食委員会は、栄養黒板の準備や栄養の話など、給食時間の活動とは別に集会活動も行っている。

今年、『G o レンジャー』を使った健康教育に取り組んでいることもあり、「G o レンジャー」の得意技を全校に知らせる集会も行った。

2回目は「かみさまに歯をもらったかえるくん」の絵本を読み、歯を大切にすること、毎日しっかり歯みがきをすることの大切さを伝えた。3回目は「ごろごろ大好き」の読み聞かせをした。



(3) PTA厚生委員会と連携した活動

① G o レンジャーカードの取組



昨年度まで行っていた「早寝・早起き・朝ごはんカード」に、歯みがきや手洗いの項目を加え、「G o レンジャーカード」として取り組んだ。運動会前や夏休み、持久走大会前などの生活リズムの立て直しに効果的だった。

保護者の声 1

・このカードを見えるところにはって、きちんと〇をつけていました。冬休みも始まるので、この調子で規則正しい生活をしたいですね。

保護者の声 2

・冬は朝がなかなか起きられないですが、目覚ましをかけて自分できちんと起きていました。冬休みもこの生活習慣が続くといいなと思います。

② 食育講演会の実施

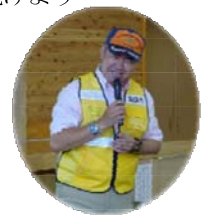


一昨年から、毎年7月のPTAの際に「食育講演会」を行っている。

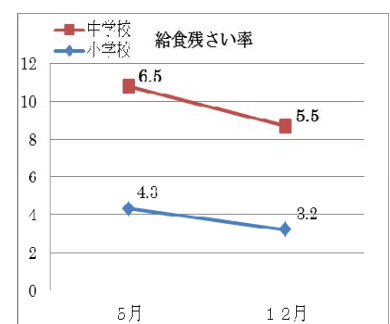
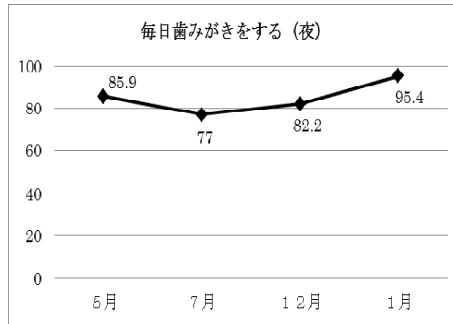
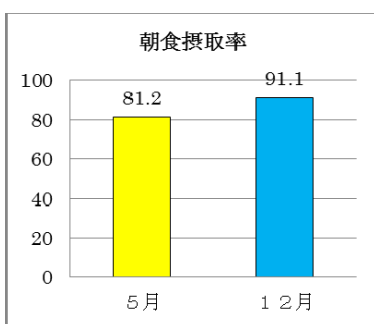
今年度は、佐伯市役所の柴田真佑さんを講師にお招きして「食と防災はつながっている！」

～与えられた「いのち」を燃やし続けよう～という演題でご講演いただいた。

「食べることは生きること」、食や防災を通じて「いのち」を見つめる感動的なお話となった。



数字で変化のあった事項について



事業全体を通じて、特に効果のあった方策等について

- ・九重の子どもたち小中9年間を通した食育計画「ここのえ学園の食育」を作成することができた。
- ・栄養教諭・体育専科教員・養護教諭・学校栄養職員が、それぞれの分野を生かして健康教育「Gorenジャータイム」を実施したことで、子どもたちは自分の体や健康について関心を持つようになった。
- ・Gorenジャータイムは、朝の10分間という短い時間ではあるが、同じテーマで別の角度から話を聞くことができた。とても効果的な取組として、来年度も継続していきたい。
- ・「大切な歯」の授業後、5・6年の呼びかけで、全校で「みがくんジャータイム」（歯みがきタイム）を設定することができた。
- ・Gorenジャーのキャラクターがとてもわかりやすく、食育だけでなく健康教育として取り組むことができた。

今後の課題(今回の事業により新たに見えた課題など)

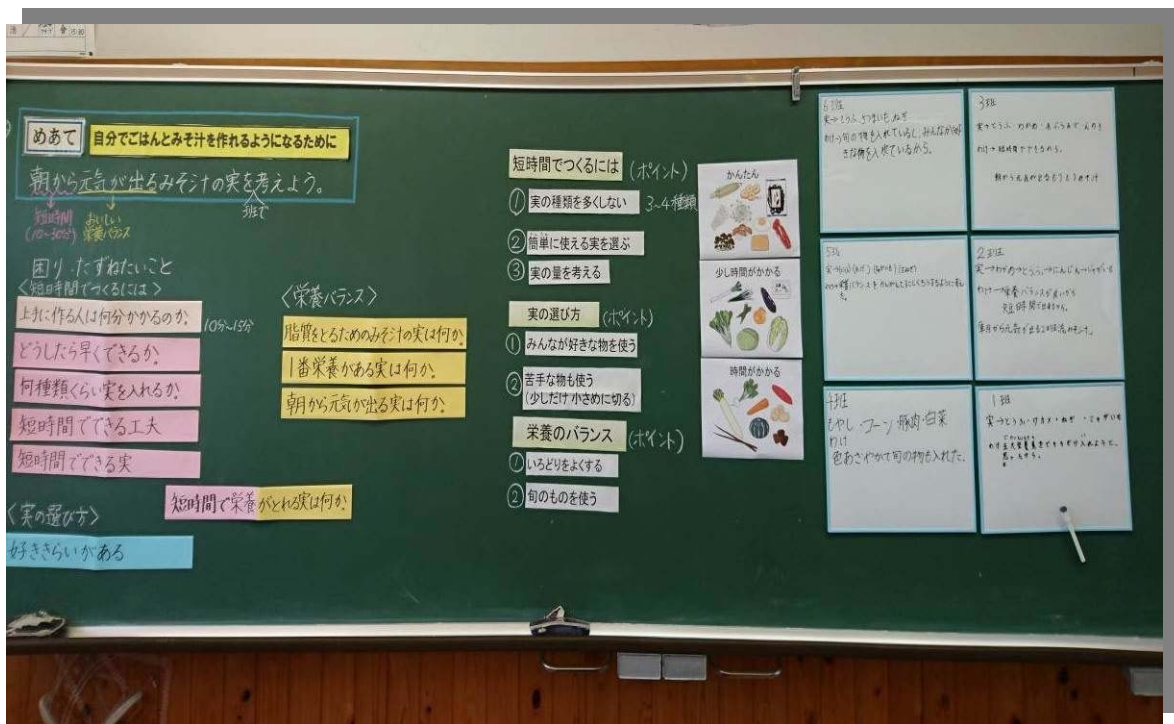
- ・町の食育計画「ここのえ学園の食育」を各学校で共通理解する。
- ・「ここのえ学園の食育」を受けた各学校の食育全体計画の見直し。
- ・Gorenジャータイムの年間計画に沿った資料作成や打ち合わせ時間の確保。
- ・大切なことを繰り返し伝えることで習慣化を図る。

3. 実践事例報告会指導案等

【杵築市立杵築小学校】

第1学年3組
学級活動
題材 「きゅうしょくの ひみつ みつけたい」

第5学年3組
家庭科
題目 「朝から元気が出るみそ汁の実を班で考えよう」



第1学年3組学級活動 学習指導案

2016年11月25日(金) 5校時

1年3組23名 指導者 鶴崎 愛美(T1)

栄養職員 渡邊 智子(T2)

1. 単元名 きゅうしょくの ひみつ みつけたい

2. 単元目標

給食は多くの人に関わって自分たちの元に届いているということを、給食センターでの様子や生産される様子を写真で見たり、動画を視聴したりすることによって知り、作ってくれている人の気持ちを考え、感謝して食べようとする気持ちを持つことができる。

3. 指導にあたって

(1) 教材観

給食は子どもたちにとって、ほとんど毎日接するものである。そのため、①共通体験としてどの子も意欲的に取り組める良さ②親しみやすく、イメージしやすい③単元を学習した後に、どの子も意識して取り組めるという事が考えられる。学校給食を作るために、多くの人が働いていることを知り、食べ物を大切にす心や残さず食べようとする心を育てることができると考えられる。また、給食に使われている地元の食材にも目を向けさせることによって、給食を身近に感じさせたり、自分の住んでいる地域で収穫できる食べ物に関心をもたせたりすることもできると考えられる。

(2) 児童観

本学級の児童は、4月当初は好き嫌が多く、給食を完食することができずに残す姿が多く見られた。その理由として、少食で食べ込みが難しいということや嫌いな物を食べないこと、初めて見たメニューや食材を敬遠してしまうこと、なぜ残さず食べないといけないのかを理解していないこと等が考えられる。また、給食が自分たちの元に届くまでにどのような人が関わっているのかということを知らないために、残すことにためらいがないことも考えられる。このような実態から、給食時には「ペロりん通信」で生産者の顔や生産地、食材ができるまでの様子を紹介してきた。きゅうりの紹介をした際は、「このきゅうりおいしい。」「苦手だけど頑張って食べてみよう。」等少しずつでも食べてみようとする気持ちを持つことができていた。また、「ノー残菜デー」の取り組みでは、残さないで食べようという気持ちを持つ子どもが多くいた。しかしその一方で、食べられる量や嫌いなものも頑張って食べようとする態度は個人差が大きく最後まで食べようとしない子どももいた。

(3) 指導観

指導にあたっては、給食センターでの様子を知ることから始め、その後、生産者の様子を知る活動へとつないでいく。生産者の様子を知る活動では、杵築産のちりめんを取り上げる。児童にとって近い人から遠い人へと順番に取り上げ、給食が届くまでに多くの人に関わっているということ、おいしく、しっかり食べてほしいという気持ちが込められていることの気づきをより深めていく。給食センターで給食ができるまでの様子や食材が生産されるまでの様子はビデオ動画で視聴させるが、視聴する前に、問題意識を持たせ、視点をはっきりと持たせておく。また、必要に応じて、実際に給食センターで使われている道具に触れさせたり、杵築産のちりめんの実物を見せたり、給食の献立を振り返らせたりして、実感を伴いながら学習を進めていけるようにする。

学習を進めながら、給食に関わっている人たちの苦労や思いに気づかせ、給食について学んだことやがんばりたいことを中心に手紙を書かせ、給食をしっかり食べようとする意欲を高めていきたい。

単元が終わった後も、給食時間に度々ふり返りを行ったり、他の食材について紹介したりする事でしっかり食べようとする意欲を持続させていきたい。また、「いただきます。」「ごちそうさま。」など食事のあいさつの意味を知らせ、感謝の気持ちを込めてあいさつができるようにしたい。

4. 食育の視点

給食は、給食センターで働く人たちや食材の生産者などの多くの人たちの苦労や努力でできていることを知り、食べ物を大事にし、感謝して食べようとする気持ちを持つことができる。(命の恵みの食)

5. 指導計画

時	学習活動	指導上の留意点	評価[観点] (方法)
1	○給食センターの様子を知り、おいしさのひみつを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食メニューの写真を見せて、給食はおいしいということを確認させる。 ・給食がおいしい理由を予想させ、板書に位置づける。 ・給食センターで給食が作られている様子について動画を視聴させ、おいしさのひみつ（モノ、人、工程）を見つけさせる。 ・具体物（ひしゃく、まぜ棒）に触れさせることで道具の大きさや重さ等を体感させ、大変さについても目を向けさせる。 ・子どもたちから出てきたおいしさのひみつの中で、「人」についての意見が少ない場合には、栄養職員の話聞き、作ってくれている人たちがどんな気持ちで作ってくれているのかを伝える。 ・ワークシートに見つけたおいしさのひみつを学習した中から選んで書かせる。 ・振り返りを行う。 	給食センターの様子に関心を持ち、給食のおいしさのひみつを見つけようとしている。[関・意・態]（観察、ワークシート）
2 本 時	○ちりめんが生産されている様子を知り、杵築市のちりめんの作り方のひみつを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を振り返り、給食のおいしさのひみつにはどんなものがあつたか確認させる。 ・給食の写真を提示し、どんなものが入っているか考えさせる。 ・本時はちりめんについて学習することを押さえる。 ・ちりめんはどのようにして給食センターにきているのか予想させる。 ・動画を視聴させ、ちりめん作りのすごいところ（モノ、人、工程）を見つけさせる。 ・ちりめん作りの中のごみとり体験（1分間）をさせ、大変さについても目を向けさせる。 ・ごみとり体験をして思ったことを発表させる。 ・子どもたちから出てきた意見の中で、「人」についてのものが少ない場合は、ちりめんを作っている人がどんな気持ちで作っているのか栄養職員の話聞きさせる。 ・ワークシートに見つけたちりめん作りのすごいところを学習したことの中から書かせる。 ・振り返りを行う。 	ちりめんづくりの様子について関心を持ち、杵築産のちりめんのひみつを見つけようとしている。[関・意・態]（観察、ワークシート）
3	○給食センターの人たちとちりめんを作っている人たちに手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・給食に関わっている人たちへ、感謝の気持ちを伝えるにはどのような方法があるか問いかける。 ・作ってくれている人たちへの感謝を伝えるためには、手紙にどんなことを書けばいいか考えさせる。 ・子どもたちから出てきた言葉を板書に位置づけ、書くのが難しい児童へのヒントにする。 ・感謝の気持ちが伝わるように手紙を書かせる。 	給食づくりに関わっている人について関心を持ち、感謝の気持ちを込めて手紙を書こうとしている。[関・意・態]（観察）

6. 本時案

(1) 題目 「きつきしの ちりめんのつくりかたの ひみつを みつけよう。」

(2) 主眼 杵築産のちりめんについて、動画の中からちりめん作りのすごいところを見つけたり、ごみ取り体験や栄養職員のお話を聞いたりすることによって、給食の食材への関心を高めることができる。

(3) 食育の視点

給食は、給食センターで働く人たちや食材の生産者などの多くの人たちが関わっていることや給食の食材について知り、食べ物を大事にし、感謝して食べようとする気持ちを持つことができる。(命の恵みの食)

(4) 展開 (2/3)

学習活動	時間	主な発問 (○) 指導上の留意点 (・)	評価[観点] (方法)
1. 前時の学習を振り返る。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・模造紙のまとめを使って、給食にはどんなおいしさのひみつがあったのか確認する。 ・給食の献立の写真を貼り、どのような食材が入っているのか出し合わせ、食材カードを貼っていく。ちりめんが出てきたら、ちりめんについて学習することを確認する。 	
きつきしの ちりめんのつくりかたの ひみつを みつけよう			
2. ちりめんがどのようにして給食センターにきているか予想する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ちりめんはどのようにして給食センターにきているのか予想させる。 ・子どもから出た意見を板書に位置づける。 ・子どもの中でちりめんについての疑問が生まれ、知りたいという気持ちが出てきたら動画を見せる。 	
3. 動画を見て、ちりめんのひみつを見つける。	20	<ul style="list-style-type: none"> ○動画の中にちりめんづくりのすごいところが隠れているよ。何個見つけられるかな。 ・説明を加えながら動画を見せる。(T2) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈予想される子どもの考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなあみでとっている。・手でまぜている。・大きなかまでゆでている。・ごみをとっている。・一生懸命作っている。 </div>	
4. ちりめんのごみ取り体験をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ちりめん作りで大切なゴミ取りをやってみよう。 ・動画の中で出てきたゴミ取りの工程をペアごとに体験させる。(T2) ・体験を通して感じた感想を発表させる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈予想される子どもの考え〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなごみを探すのは大変。・たくさんのゴミが入っていた。・見ると簡単だったけど、やってみると大変。 </div>	
5. 学習のまとめをし、振り返りをワークシートに記入する。	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ちりめんを作る際の苦労やどんな気持ちで作っているのかということについて話をする。(T2) ○今日のお勉強で見つけたちりめんづくりのすごいところを書こう。 ・見つけたひみつの中ですごいと思うものをワークシートに記入させる。 ・全体で交流する。 	ワークシートに、見つけたひみつを、学習したことの中から選んで書いています。 [関・意・態] (観察、ワークシート)

評価基準B：ワークシートに、自分が思うすごいところを、「モノ」「工程」「人」のいずれでも、選んで書いています。

1. 単元名 自分でごはんのみそ汁を作れるようになるう

2. 単元目標

○日常の食事や使われている食品に関心を持ち、栄養のバランスを考えた食事を大切にすることができる。

○みそ汁の実について栄養バランスを考えたり、切り方の工夫や実の選び方を考えたりしてみそ汁の実を組み合わせることができる。

○ご飯のみそ汁を作ることができる。

○食品の栄養的な特徴や体内での主な働きがわかり、食事をバランスよくとることが大切であることがわかる。

3. 指導にあたって

(1) 教材観

本教材では、日本の伝統的な食事の基本となるご飯のみそ汁を取り上げ、学習指導要領の内容「B 日常の食事と調理の基礎」内容を関連付けて構成している。

この学習を通して、ご飯のみそ汁についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、食品を組み合わせることで摂ることが大切であることを知り、日常生活で実践できるようにすることをねらいとしている。

ご飯のみそ汁の実習をする学習をふまえて、1食分の食事内容を計画したり調理実習をしたりする経験を生かして、よりよい食生活をしようとする意欲や態度が育ってほしいと思う。

(2) 児童観

家庭科の授業では、多くの児童が家庭科の学習内容に関心をもっている。調理実習では、卵や青菜をゆでたり野菜サラダを作ったりして用具の使い方や切り方、後始末の仕方について学習してきた。また、栄養教諭にも調理実習の補助や朝食の話をしてもらうことで児童たちは食への関心が高まってきている。

食について事前にアンケートを実施したところ、「食事を作る手伝いをする」…約93%、「みそ汁を食べる」…約89%、「みそ汁が好き」…約86%、「みそ汁を作ったことがある」…約48%という結果であった。

結果から、食事の手伝いをする割合が多いことから食事に関心をもつ機会が多いことがうかがえる。一方でみそ汁を自分で作った経験が少ない。日本の伝統的な日常食でもあるご飯のみそ汁について学習をし、調理の仕方や栄養バランスを考えて実を組み合わせ、自分で作る楽しさや喜びを味あわせていきたい。そして、学んだことを家庭で生かすことができる実践力につなげていきたいと考える。

(3) 指導観

はじめに、『食べる』ということの意味や給食の献立を参考に、どのような食品を使っているのかを考えさせ、食(旬)や栄養バランスに関心をもたせていく。次にご飯のみそ汁は日本の伝統的な食事であることをおさえるとともにご飯のみそ汁の良さを栄養教諭に話をしてもらう。

ご飯のみそ汁が出る給食の献立と家庭でのご飯のみそ汁について比較し、給食と家庭のみそ汁の実の違いを見つけることで食材の種類や栄養面の観点などの課題を見つけ、みそ汁の計画を立てる必要性を感じさせる。みそ汁の計画を立てたことについて、朝から作れるみそ汁作りをするために、時間や実の取り合わせ方の工夫を見直すために栄養教諭からアドバイスをもらうことで、家庭でも日頃から手軽にみそ汁作りができるようにつなげたい。

ご飯については、米とご飯を比較観察したり、米がご飯となる様子を観察したりすることにより、炊飯の仕組みを理解させたい。なお、調理実習にあたっては、みそ汁作りと炊飯についての基礎基本をしっかり押さえていので、別々に調理する計画を設定した。

4. 食育の視点

自分でごはんのみそ汁を作ることができるようになるために、食品の栄養的な特徴や体内での主な働きを知り、栄養バランスを考えたり、切り方の工夫や実の選び方を考えたりしてみそ汁の実を組み合わせることができる。(よりよく生きるための食)

5. 指導計画(全12時間) 全体のめあて「自分でごはんのみそ汁を作れるようになる」

時	学習活動	指導上の留意点	評価[観点] (方法)
1	○自分たちはなぜ毎日「食べる」という行為を行っているのかを考える。 『食べるということについて考えよう』	・給食の献立をもとに、食べることの意味や献立の工夫点について話をしてもらう。 ・給食の献立をもとに、どのような食品を使っているのかを考えさせ、感想を書かせる。	・毎日食べている食事に興味をもとうとしている。【関・意・態】(発表・ワークシート)
2	○五大栄養素の種類と体内での主な働きによって3つのグループに分けられることを知る。 『食べ物のはたらきについて考えよう』	・五大栄養素の種類と体内での働きについて確認する。 ・給食の献立で使われている食品を主な働きによる3つのグループに分けその特徴を考えさせる。	・五大栄養素の種類と食品の3つのグループの働きや分け方について理解している。 【知・理】(発表・ワークシート)
3	○和食の基本となる主食と汁物について考え、給食と家の食事を比べる。 『給食と家の食事をくらべよう』	・日本の伝統的な食事であることや栄養教諭にご飯やみそ汁の良さについて説明をってもらう。 ・給食と家のみそ汁の実を3つの食品のグループ(栄養素)に分けて違いを考えさせる。	・ご飯とみそ汁の特徴がわかる。【知・理】(発表・ワークシート) ・家の食事を3つの食品グループに分けることができる。【技】(ワークシート)
4 5	○基本のみそ汁の作り方を知り、個人のみそ汁の計画を立て、班でみそ汁の実を考える時の困りや栄養教諭に尋ねたいことを考える。 『朝から元気が出るみそ汁の実を考えよう』	・基本のみそ汁の作り方をおさえる。 ・朝に作るとしたらということを条件に個人のみそ汁の実を考えさせる。 ・班でみそ汁の実を選ぶ時に困りや栄養教諭にたずねたいことを考えさせる。	・朝から元気が出るみそ汁の計画をワークシートに記入している。【創意工夫】【技】(ワークシート・班での話し合い)
6 (本時)	○栄養教諭に班でみそ汁の実を考える時の視点を話してもらい、班でみそ汁の実を考える。 『朝から元気が出るみそ汁の実を班で考えよう。』	・栄養教諭の話を設定し、手軽にみそ汁が作れる視点を与えてから班で考えさせる。 ・ボードを使って発表させる。	栄養教諭の話をもとにみそ汁の実を選ぶ時のポイントを使って、班でみそ汁の実を考えることができる。 【創意工夫】(観察、ワークシート)
7 8	○班で考えたみそ汁の実を使ってみそ汁を作って試食する。 『朝から元気が出るみそ汁を作ってみよう』	・前時で考えたみそ汁の実でみそ汁を作ること確かめる。 ・試食や調理の感想をまとめさせる。	朝から元気が出るみそ汁について班の計画をもとに工夫して作ることができる。【創意工夫】【技】(行動観察・ワークシート)
9 10 11	○ご飯の炊き方を計画し、ご飯を炊く。 『おいしいご飯を炊いてみよう』	・おいしいご飯を炊くための視点を与えて、自分たちで考えさせる。 ・班ごとにご飯を炊き、観察したり試食したりして気づいたことをまとめさせる。	・ご飯の調理の仕方について理解している。 【知・理】(ワークシート) ・おいしくご飯を炊くための視点をもとにご飯を炊くことができている。【技】(行動観察・ワークシート)
12	○家庭実践をして、家族に感想を書いてもらう	・個人のみそ汁の実を考えたことを振り返らせ、朝から元気が出るみそ汁の実になっているのかを見直させる。 ・あらかじめ、学級通信等を使って保護者の協力を得る。	おいしいみそ汁を工夫して調理することができる【技】(感想カード)

6. 本時案

- (1) 題目 「朝から元気が出るみそ汁の実を班で考えよう。」
- (2) 主眼 朝から元気が出るみそ汁の実について、栄養教諭に前時で話し合った時に出了た困りやたずねたいこと、実を選ぶ視点についてアドバイスをもらい、朝から元気が出る(短時間に栄養バランスを考えた)みそ汁の実の取合せ方を工夫することが出来る。
- (3) 食育の視点 自分でごはんのみそ汁を作ることができるようになるために、食品の栄養的な特徴や体内での主な働きを知り、栄養バランスを考えたり、切り方の工夫や実の選び方を考えたりしてみそ汁の実を組み合わせることが出来る。(よりよく生きるための食)

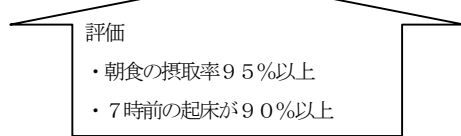
(4) 展開 (6/11)

学 習 活 動	時間	主な発問 (○) 指導上の留意点 (・)	評価[観点] (方法)
1. 本時の学習のめあてをつかむ。	5	○学習の流れをたしかめよう。 ・『朝から元気が出る(短時間に栄養バランスを考えた)みそ汁』の視点で、班ごとでみそ汁の実を考えるとときに出了た困りや栄養教諭にたずねたいことを確認する。	
朝から元気が出るみそ汁の実を班で考えよう。			
2. それぞれの班の困りや栄養教諭に聞きたいことを出し合い栄養教諭に話をしてもらう。	15	○みそ汁の実について班ごとで出了た困りやたずねたいことを発表して解決しよう。 ・班ごとに前時で出了た困りや栄養教諭にたずねたいことを発表させる。 ・困りやたずねたいことをもとに栄養教諭にみそ汁の実を考える時のポイントや工夫点を話してもらう。	
<p style="margin: 0;">朝から元気が出るみそ汁の実を考える時のポイント</p> <p style="margin: 0;">朝(短時間にできる方法)・・・実の選び方・切り方・具材の数</p> <p style="margin: 0;">元気・・・栄養バランス(旬) など</p>			
3. 朝から元気が出るみそ汁の実を班で考えて発表する。	20	○栄養教諭の話をもとに、班でみそ汁の実を考えてみよう ・みそ汁の実を選ぶ時に栄養教諭から聞いたポイントを使いながら決めさせていく。 ・班で話し合って決めたみそ汁の実とその理由をボードに書かせる。 ・班で考えたことを発表させる。	○栄養教諭の話をもとにみそ汁の実を選ぶ時のポイントを使って、班でみそ汁の実の取合せ方を工夫している。【創意工夫】(観察、ワークシート)
4. 本時の学習について振り返り、次の学習への見通しをもつ。	5	○班の話し合いで学んだことを振り返ろう。 ・朝から元気が出るみそ汁の実にするためにどのようなポイントを使って話し合ったのかを書かせ、数人に発表させる。 ・次回は、班ごとで考えたみそ汁の実を作るという見通しをもたせる。	

本時の評価基準B：班での話し合いを振り返り、栄養教諭から聞いたみそ汁の実を選ぶ時のポイントにそってどのような工夫をしたのかをワークシートに書いている。

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食の摂取率は91.5% ・朝食の内容では、主食のみが33% ・起床時間7時前は83.5% ・毎日食に関する手伝いをする児童は45% <p>地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の地域の食材の使用について協力的 	<p>学校教育目標</p> <p>豊かな心と自ら学ぶ力を身に付けた心身ともにたくましい児童の育成</p> <p>目指す子ども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よく聞き、自分の考えを表現できる子ども ○思いやりをもち、仲良く助けあう子ども ○進んで行動し、最後までやりぬく子ども 	<p>市食育推進計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスと健康の関係を知り、自分の健康は自分で守ろう ・共食をとおして豊かな心を育もう ・地域の食材や、食の安心安全について関心をもとう
--	--	---

<p>食に関する指導の目標</p> <p>生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることをめざし、児童一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて、豊かな心を育成し社会性を育てる。</p> <p>①よりよく生きるための食（食事の重要性：重）・・・よりよい生活のために食事が果たす役割の大切さ、喜び、楽しさを理解する</p> <p>②健やかな体と心を育む食（健）・・・体の成長や健康のために、望ましい栄養や食事のとり方を知り、行うことができる</p> <p>③自立のための食（自）・・・食べることに際して、正しい知識や情報をもとに自ら判断し、行動できる力を養う</p> <p>④命の恵みの食（感謝の心：感）・・・自然の恵みや命の大切さを感じ、食事に関わる人すべてに感謝する心を持つ</p> <p>⑤みんなで楽しむ食（社会性：社）・・・一緒に食べる楽しさを知り、楽しい食事にするためのマナーを身につける</p> <p>⑥未来に伝える食（食文化：文）・・・食と地域のつながりに関心を持ち、未来へ食文化を伝える</p>
--



発達段階に応じた食に関する指導			
学年	低学年	中学年	高学年
指導の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物に関心を持ち、食品の名前がわかるようにする。(よりよく生きるための食：重) ○みんなと楽しく食べることができるようにする。(みんなで楽しむ食：社) ○きまり正しい生活をし、朝食をゆつくり食べることができる。(健やかな体と心を育む食：健・自立のための食：自) 	<ul style="list-style-type: none"> ○食べ物の働きについて関心を持ち、食品を3つの働きのグループに分けることができる。(健やかな体と心を育む食：健) ○正しい食事のマナーを知り、楽しく食べることができるようにする。(みんなで楽しむ食：社) ○いろいろな食べ物を好き嫌いなく、味わって食べることができるようにする。(よりよく生きるための食：重・自立のための食：自・命の恵みの食：感) 	<ul style="list-style-type: none"> ○バランスのとれた食事の大切さがわかり、給食を残さず食べたり、朝食を食べよう生活の仕方を考えたりできる。(健やかな体と心を育む食：健・自立のための食：自) ○食事を通して豊かな心と好ましい人間関係を育てるようにする。(みんなで楽しむ食：社) ○地域の産物や地域に伝わる郷土食などに関心を持つ。(未来に伝える食：文・命の恵みの食：感)

《指導の場》発達段階に応じ、教科領域の特性を活かして

<p>生活科</p> <p>1年：かぞくにこにこ大きくせん（社・自）</p> <p>2年：めざせ野さいめいじん（感）</p>	<p>家庭科</p> <p>5年：やってみよう家庭の仕事（自・健・重）</p> <p>6年：くふうしようおいしい食事（重・健・自）</p>	<p>社会</p> <p>5年：食料生産をささえる人々（感・社）</p> <p>6年：日本と世界のつながり（文・社）</p>
<p>理科</p> <p>4年：わたしたちの体と運動（重・健）</p> <p>6年：体のつくりとはたらき（重・健）</p>	<p>給食指導</p> <p>給食目標：楽しい給食時間にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備・かたづけをていねいにしよう（社・自） ・残さずバランスよくたべよう（重・健） ・あいさつをきちんとしよう（感・文） 	
<p>特別活動</p> <p>全学年：夏休みの過ごし方を考えよう（健・自・重）</p> <p>1年：朝ごはんをしっかり食べよう（健・自・重）</p>	<p>保健体育</p> <p>3年：毎日の生活と健康（重・健）</p> <p>4年：育ちゆく体とわたし（重・健）</p> <p>6年：病気の予防（健）</p>	<p>道徳</p> <p>2年：ピーマンマンとよふかし大まおう（感・健）</p> <p>3年：いただきます（感・文）</p>
<p>学校行事</p> <p>食育月間（6月）学校給食週間（1月）</p> <p>まるごと杵築の日（年3回）</p> <p>ノー残さいデー（年2回）</p>	<p>総合的な学習の時間</p> <p>3年：茶摘み体験（文・感）</p> <p>4年：杵築の自然（文・社）</p> <p>5年：米づくり体験（文・感・自）</p>	<p>個別相談</p> <p>食物アレルギー・肥満・痩身・偏食（健・自）</p>
<p>家庭・地域との連携</p> <p>食育だより</p> <p>学校給食試食会</p> <p>親子料理教室</p>		

第3学年 国語科学習指導案

平成28年11月17日(木)

授業者 井上 直樹(T1)

山本 桃子(T2)

- 1、単元名 「すがたをかえる〇〇の事典」を作って、なかよし班の2年生に昔の人々の知恵を伝えよう

教材：「すがたをかえる大豆」(読む)「食べ物のひみつを教えます」(書く)
～段落相互の関係をとらえて文章全体を読み取り、文章の中心を明確にして表現する力～

2、単元の指導目標

<指導目標>

- 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすることができる。(読む)
- 文章全体における段落の役割を理解し、書こうとすることの中心が明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成することができる。(書く)

<指導項目>

- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。【読一イ】
- 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。【読一エ】
- 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。【書一ア】
- 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。【書一イ】
- 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。【書一ウ】
- 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。【伝国(1)一イ(ク)】

<評価規準>

【国語への関心・意欲・態度】

- ・自分の調べたいことについていろいろな本から調べたり、わかったことを意欲的に報告する文章に書いたりしている。

【読む能力】

- ・自分が調べたいことを中心となる語や文をとらえ、段落相互の関係を考えながら読んでいる。(読一イ)
- ・自分が調べたいことのある文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりしている。(読一エ)

【書く能力】

- ・文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。(書一イ)
- ・調べたことやそこから考えたことなどが明確に伝わるように、理由や事例を挙げて調べたことを報告する文章を書いている。(書一ウ)

【言語についての知識・理解・技能】

- ・文や段落相互の関係を示す手掛かりとしての指示語・接続語の役割を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。(伝国(1)一イ(ク))

3、単元にかかわる児童の実態

- 1学期、「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」の説明文の読み取りの学習を行っている。
「言葉で遊ぼう」では、『言葉遊びの種類と楽しさにはどのようなものがあるか』、「こまを楽しむ」では、『こまの種類と楽しみ方にはどのようなものがあるか』というそれぞれの筆者の問いに対して、段落相互の關係に着目して読むことで、文章全体が「はじめ」「中」「おわり」のまとまりに分けられることを学習している。また、「はじめ」には、筆者の問い、話題設定、「中」には、問いに対する説明、「おわり」には、筆者の思いや考え(全体のまとめ)などが書かれていることも学習している。
2つの説明文は、問いの設定の仕方が似ているため、段落のまとまりとしてとらえやすい文章だった。そのため、各段落の中から言葉遊びやこまの種類・楽しみ方を表す文を読みとることはできていた。しかし、それぞれの段落に書かれた言葉遊びやこまの楽しみ方の違いなどに着目したり、段落のつながりを意識して読み取ったりしている子どもが多くなかった。また、「おわり」の部分で、筆者が伝えたい思いや考えを読みとれない子どももいた。
- 1学期の「気になる記号」の単元では、記号について調べたいことを決め、図書館の本などで調べて材料を集め、「はじめ」「中」「おわり」を意識した報告する書く学習に取り組んだ。
子どもたちは、報告する文で、『調べたきっかけや理由、調べ方』(はじめ)、『調べてわかったこと(記号の説明)』(中)、『調べた感想やわかったこと』(おわり)の文章構成で書いた。文章構成や文末表現を確認して文章作成をしたことで、「はじめ」「中」「おわり」の段落のまとまりに気をつけて表現できるようになってきた。しかし、「中」の部分で「段落構成や文のまとまりを上手に書くこと」「段落相互のつながりを意識して書くこと」「指示語や接続語の使い方を理解し、適切な文末表現を選ぶこと」が苦手な子どももいる。

	<p>○本文を「はじめ」「中」「おわり」の3つに分け、それぞれどんなことが書かれているか考える。</p>	<p>○2段落に着目させ、問いが隠されていることを見抜かせる。 ○「はじめ」は『問い』、「中」は『大豆の説明(工夫)』、「おわり」は『まとめ(筆者の考え)』が書かれていることを確認させる。 ○「中」で説明されている9種類の食品を確認させる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">㊦「はじめ」は『問い』、「中」は『大豆の説明(工夫)』、「おわり」は『まとめ(筆者の考え)』が書かれている</p>		<p>【読イ】 段落のまとまりやつながりを考え、本文を組み立てて理解している。 (発言・ノート)</p>
<p>4※ 本時</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">㊦大豆をおいしく食べるために、どんなくふうをしているだろうか。</p> <p>○大豆をおいしく食べるために、どんな工夫をしているかを読み取る。 ○大豆をおいしくするための工夫を発表する。</p> <p>○大豆をおいしく食べるためのくふうをまとめる。</p>	<p>○前時に、本文の「中」は『大豆の説明(工夫)』が、書かれていたことをおさえ、課題を設定する。 ○大豆をおいしく食べるために、どんな工夫をしているかを読み取らせる。 ○大豆をおいしくするための工夫を発表させる。 ○「豆腐」「納豆」「味噌」「醤油」の工夫を説明し、5、6段落に書かれた工夫が『違う食品にかえる工夫』で一つにまとめられることを押える。 ○『「豆まきの豆・に豆」と「きなこ」のくふうは一つにまとめられるか。』などと問い、3段落と4段落の工夫が一つにまとめられることを押える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">㊦大豆をおいしく食べるためには、 (1)その形のままで使う・かえるくふう (2)ちがう食品にするくふう (3)とり入れる時期や育て方のくふうをしている。</p> <p>○「大豆がなぜこんなに多くの工夫がされてきたか」などと問い、大豆のよさや昔の人々の知恵について考えを深められるような問いかけをして次時へつなげる。</p>		<p>【読イ】 大豆をおいしくするための工夫を読み取り、理解している。 (ワークシート) (発言)</p> <p>☆【食①】 大豆には栄養的な特徴があることを知り、おいしく食べるための工夫をさかされてきたのかについて関心をもつこと。 (発言) (ワークシート)</p>
<p>5※</p>	<p>㊦「すがたをかえる大豆の事典」のへんしんマップを書こう。</p> <p>○「すがたをかえる大豆の事典」のへんしんマップを書く。</p>	<p>○「すがたをかえる大豆」で紹介された食品の中から選び、へんしんマップのかき方を全体で確認させる。 ○「すがたをかえる大豆」で紹介された食品の中から1つ選び、へんしんマップを書かせる。 ○前時で学習した大豆をおいしくする工夫を振り返らせる。</p>		<p>【書イ】 「すがたをかえる大豆の事典」のへんしんマップがかけられている。 (ワークシート)</p> <p>☆【食①】 豆腐などの大豆食品をおいしく食べるための工夫について関心をも</p>

単元をつらぬく言語活動 「すがたをかえる〇〇事典」を作って、なかよし班の2年生に食品をおいしく食べるためのくふうを伝えよう。

		(T2)		つ。 (発言)
		㊟「すがたをかえる大豆の事典」では、〇〇のへんしんマップをかき、〜〜〜ということを学んだ。		
6	<p>㊟ 2年生にわかりやすいへんしんマップをかくには、どんなくふうをすればよいか。</p> <p>○豆腐ができるまでにどんなへんしんマップにすればよいか考える。</p> <p>○みそのへんしんマップを作る。</p>	<p>○二つの「豆腐」へんしんマップを比べさせ、2年生にわかりやすいマップにするための工夫を考えさせる。</p> <p>㊟ 2年生にわかりやすいへんしんマップをかくには、手のくわえ方を短くまとめ、じゅんじょよくならべてかけばよい。</p> <p>○みそのへんしんマップを作らせる。</p>		<p>【読エ】文章を要約し、まとめるのに気づくことができる。(ノート・発言)</p>
7	<p>㊟ 「すがたをかえる大豆」のへんしんマップを完成させよう</p> <p>○前時までにかいていない、へんしんマップを完成する。</p>	<p>○前時までにかいていないへんしんマップを完成させる。</p> <p>○わかりやすい言葉で順序よく並べられているかを意識してかかせる。</p> <p>○完成したマップを友達同士で見合う時間を保障する。</p> <p>㊟ ~についての「すがたをかえる大豆」のへんしんマップを、~に気をつけて書くことができた</p>		<p>【読エ】「すがたをかえる大豆」の文章を要約したり引用したりしてへんしんマップをかいている。(ワークシート)</p>
8※	<p>㊟ 自分が調べている「すがたをかえる〇〇の事典」のへんしんマップを作ろう</p> <p>○自分が調べている「すがたをかえる〇〇の事典」のへんしんマップを作る。</p>		<p>○前時の学習を参考に、わかりやすい言葉で順序よくへんしんマップを作せることを意識させる。</p> <p>○選んだ食品についての工夫を読み取ることが難しい子どもには詳しく説明するなどの支援をする。</p> <p>(T2)</p> <p>㊟ 「すがたをかえる〇〇」のへんしんマップを、~に気をつけて書くことができた</p>	<p>【読エ】自分の文章を要約したりして、調べた内容を引用して、へんしんマップをかいている。(ワークシート)</p> <p>☆【食①】自分が調べている食品について工夫をもつ。(発言)(行動観察)</p>
3	9	<p>○へんしんマップをもとに、「すがたをかえる大豆」を報告する文章を書くことを知る。</p> <p>㊟ 「はじめ」と「おわり」は、どのように書けばよいか。</p>	<p>○へんしんマップをもとに、「すがたをかえる大豆」を報告する文章を書くことを確認させる。</p> <p>○へんしんマップは「はじめ」「中」「おわり」のどの部分に当たるかを考えさせ、「中」にあたるものと確認させる。</p> <p>○「はじめ」と「おわり」</p>	

並行読書 「すがたをかえる〇〇」の本を読み進める

単元をついぬぐ活動「すがたをかえる○○事典」を作って、なかよし班の2年生に食品をおいしく食べるためのくふうを伝えよう。

	<p>○「はじめ」と「おわり」に書く内容を考える。</p> <p>○「すがたをかえる大豆の事典」の「はじめ」「おわり」を書く。</p>	<p>にどんなことを書けばよいかを考えさせる。</p> <p>㊦「はじめ」は『自分が説明する話題』、「おわり」は『全体のまとめ』を書けばよい。</p> <p>○「すがたをかえる大豆の事典」の「はじめ」「おわり」の文章を書かせる。</p>		<p>【書イ】段落相互の関係に注意して「はじめ」「おわり」の文章が書けている。(ワークシート)</p>
10	<p>㊦自分が調べている「すがたをかえる○○の事典」の「はじめ」「おわり」を書こう</p> <p>○前時の学習をもとに、「すがたをかえる○○」を報告する文章を書く。</p>		<p>○前時の学習をもとに、「すがたをかえる○○」を報告する文章の「はじめ」「おわり」を書かせる。</p> <p>○前時に確認したことを意識させながら、書かせる。</p> <p>○完成した文章を友だち同士で見合う時間を保障する。</p> <p>㊧～についての「すがたをかえる大豆」のへんしんマップを、～のように書くことができた</p>	<p>【書イ】段落相互の関係に注意して「はじめ」と「おわり」の文章が書けている。(ワークシート)</p>
11	<p>㊧「中」の文章をわかりやすく書くには、どんな書き方をすればよいか。</p> <p>○接続語に着目し、わかりやすい書き方を考える。</p>	<p>○「すがたをかえる大豆」の「中」の文章の文頭に注目させ、つなぎ言葉の役割について考えさせる。</p> <p>○「次に」「また」「さらに」のつなぎ言葉が手のくわえ方の違いを順序よく表現していることを押える。</p> <p>㊦「中」の文章をわかりやすく書くには、「次に」「また」「さらに」などのつなぎ言葉を順序よく使えばよい。</p>		<p>【伝国(1)イク】接続語や指示語に注意して読み、言葉の役割を理解している。(ノート・発言)</p>
12	<p>㊦「すがたをかえる大豆の事典」の「中」の文章を書こう。</p> <p>○「すがたをかえる大豆の事典」の「中」の文章を書く。</p>	<p>○前時に学習した接続語を意識させ、「すがたをかえる大豆の事典」の「中」の文章を書かせる。</p> <p>㊧「すがたをかえる大豆の事典」の「中」の文章を、～に気をつけて書くことができた。</p>		<p>【書イ】段落のつながりに注意をして、「中」の文章が書けている。(ワークシート)</p>
13※	<p>㊦自分が調べている「すがたをかえる○○の事典」の「中」の文章を書こう。</p> <p>○自分が調べている「すがた</p>		<p>○前に学習した接続語を意識させ、「すがたをかえる○○の事典」の「中」の文章を書かせる。</p> <p>○へんしんマップをもとに、「中」の文章を書く順序を確認させて書かせる。</p> <p>○それぞれの選んだ食品の工夫が書け</p>	<p>【書イ】段落のつながりに注意をして、「中」の文章が書けている。(ワークシート)</p> <p>☆【食②】選んだ食品の工夫してい</p>

並行読書「すがたをかえる○○」の本を読み進める

	をかえる○○の事典」の「中」の文章を書く。		ているかどうか読んでアドバイスを する。 (T2)	るところや栄養的特徴を知る。 (ワークシート)
14	<p>④自分が調べている「すがたをかえる○○の事典」を完成させよう。</p> <p>○自分が調べている「すがたをかえる○○の事典」の表紙や目次、イラストを書く。</p>		<p>○自分が調べている「すがたをかえる○○の事典」の表紙や目次、イラストをかくことを確認する。</p> <p>○わかりやすい表紙や目次、イラストを書くにはどうしたらよいか考えさせながら作らせていく。</p>	<p>【関】 「すがたをかえる○○の事典」の表紙や目次、イラストを意欲的に書いている。 (事典)</p>
15	<p>④1, 2年生がわかりやすい「すがたをかえる○○の事典」になっ てい るか見直そう。</p> <p>○1, 2年生がわかりやすい「すがたをかえる○○の事典」になっ てい るか見直す。</p>		<p>○段落の内容や接続語、文末表現などが、適切かどうか友だち同士で見直しさせる。</p> <p>○修正点があれば、赤で書きこませる。</p>	<p>【伝国(1)イク】 接続語や指示語に注意して読み合い、文章を見直すことができる。 (付箋・発言)</p>
16※	<p>④「すがたをかえる○○の事典」を仕上げ、友だちに紹介しよう。</p> <p>○前時に見直した資料をもとに清書する。</p> <p>○自分の作品を友だちに紹介する。</p>		<p>○前時に見直した資料をもとに清書させる。</p> <p>○友だち同士で紹介し合う時間を保障し、友だちの事典のよいところを伝え合わせる。</p> <p>○「自分ならどんな食品を多く食べてみたいか」など質問し、友だちが発表した食品のよさを説明する。 (T2)</p>	<p>【関】 友だちのよいところを見つけ、感想を伝えることができる。 (付箋) (ワークシート) ☆【食③】 日常食や料理の名前や形を知り、食品に含まれる栄養素やその働きを考え、適切な選択をする。</p>

並行読書 「すがたをかえる○○」の本を読み進める

本単元でつきたい力
段落相互の関係をとらえて文章全体を読み取り、文章の中心を明確にして表現する力

7、本時案 (4/16)

- (1) 題目
- (2) 主眼

大豆をおいしく食べるために、どんなくふうをしているだろうか。
大豆をおいしく食べるためにどんな工夫をしているかを、〈段落のつながり〉〈おいしくするための工夫の類似点〉〈加工の仕方〉などからとらえ、大豆が色々な方法で別のすがたにかえられていることを理解することができる。

(3) 食育の視点

大豆には栄養的な特徴があることを知り、おいしく食べるためにどんな工夫をされたのかについて関心をもつこと。 【心身の健康】

(4) 展開

学習活動	時	教師の支援・指導		評価規準 ☆食育の視点
		T 1	T 2	
1、学習課題をつかむ。	5	前時までに、本文の「はじめ」「中」「おわり」に分け、「はじめ」は『問い』、「中」は『大豆の説明（工夫）』、「おわり」は『まとめ（筆者の考え）』が書かれていることを確認している。本時では、「中」の部分に着目し、大豆の工夫について詳しく読み取る活動を取り入れていく。また、すがたをかえた大豆の9種類の食品についても確認している。		
2、大豆をおいしく食べるためには、どことなくふうをしているかを読み取る。	12	○前時に、本文の「中」は『大豆の説明（工夫）』が、書かれていたことをおさえる。 ○前時で確認させた、すがたをかえた大豆の9種類の食品を振り返らせ、板書に位置づける。 ○大豆の工夫は、「大豆をおいしくするためにしていること」（隠れた問い）を確認させ、見通しがもてたところで学習課題を設定する。	大豆をおいしく食べるために、どことなくふうをしているだろうか	
3、自分の考えを話し合い、考えを深める。	23	○大豆をおいしく食べるために、どんな工夫をしているかを読み取らせる。 ・個人で考えをワークシートに書かせていく。 ・考えがもてない子には、本文の中で大豆を変身させるために手を加えている文を探させていくようにさせる。 ○自分の考えをもたせた後、ペアなどで意見交流をさせ、考えを深めたり、見直しさせたりする。 ○大豆をおいしくするための工夫を発表させ、考えを深めさせていく。		
		《子どもの考えの予想》 ③（豆まきの豆、に豆、） 大豆をその形のままいたり、にたりして、やわらかくおいしくするくふう。 ④（きなこ） 大豆をいって、こなにひいて食べるくふう。 ⑤（とうふ） 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出すくふう。 ⑥（なっとう、みそ、しょうゆ） 目に見えない小さな生物の力をかりるくふう。 ⑦（えだ豆、もやし） 取り入れる時期や育て方のくふう。		
		○7段落の工夫は、「とり入れる時期や育て方のくふう」であることを押えさせる。	○考えが板書に位置づいたら、大豆をおいしくするための工夫について説明をする。 ○「豆腐」「納豆」「味噌」「醤油」の工夫を説明し、5、6段落に書かれた工夫が『違う食品にかえる工夫』で一つにまとめられることを押さえる。	
		「豆まきの豆・に豆」と「きなこ」のくふうは一つにまとめられるか。		
		○一つにまとめられるかまとめられないかの自分の立場を決めさせる。	○「きなこ」は大豆をいってから、こなにひくことについて説明する。	【読イ】 大豆をおいしくするための工夫を読み取り、理解している。（ワークシート） （発言）

<p>4、大豆をおいしく食べるためのまともなふめをまとめる。</p>	<p>5</p> <p>○「大豆をいって、こなにひく」ことから、「豆まきの豆・に豆」と「きなこ」のくふうは一つにまとめられることを押えさせる。</p> <p>《子どもの考えの予想》 1【その形のまま使う・かえるくふう】(豆まきの豆、に豆、きなこ) ③大豆をその形のままいったり、にたりして、やわらかくおいしくするくふう。 ④大豆をいって、こなにひいて食べるくふう。 2【違う食品にするくふう】(とうふ、なっとう、みそ、しょうゆ) ⑤大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出す。 ⑥目に見えない小さな生物の力をかりる。 3【取り入れる時期や育て方のくふう】 ⑦取り入れる時期や育て方をくふうする。</p> <p>④大豆をおいしく食べるためには、 (1) その形のまま使う・かえるくふう (③④段落) (2) ちがう食品にするくふう (⑤⑥段落) (3) とり入れる時期や育て方のくふう (⑦段落) をしている。</p> <p>○「大豆がなぜこんなに多くの工夫をされてきたか」などと問い、大豆のよさや昔の人々の知恵について考えを深められるような問いかけをして次時へつなげる。</p>	<p>・実際に大豆をひくところを実演し、イメージしやすくさせる。</p> <p>○大豆から豆まきの豆・に豆、きなこにかわることをイメージしやすくするためにへんしんマップを提示する。</p>	<p>☆【食①】大豆には栄養的な特徴があることを知り、おいしく食べるために工夫を凝らしてきてきたことをもつて。 (ワークシート) (発言)</p>
	<p>○子どもから意見が出れば、大豆がなぜこんなに多くの工夫をされてきたかを、大豆のよさや昔の人々の知恵などの視点から説明をする。</p>		

8、板書計画

まとめられない
ちがう

豆とこなにひいたのでは見た目がちがう

まとめられる
大豆をいってから、こなにひいて

「豆まきの豆・に豆」と「きなこ」のくふうは一つにまとめられるか。

取り入れる時期や育て方のくふう
⑦えだ豆
もやし

ちがう食品にするくふう
⑥なっとう
⑤とうふ
みそ
しょうゆ
コウジカビ
目に見えない小さな生物の力をかりるくふう。

その形のまま使う・かえるくふう
④きなこ
に豆
③豆まきの豆

大豆をその形のままいったり、にたりして、やわらかくおいしくするくふう。

大豆をいって、こなにひいて食べるくふう。

十一月十七日(木) すがたをかえる大豆 かくれた問い 「昔からいろいろ手をくねえ大豆をおいしくするくふうをしてみました。」

「大豆をおいしく食べるために、どんなくふうをしているだろうか。」

「大豆をいって、こなにひいて食べるくふう。」

「大豆をその形のままいったり、にたりして、やわらかくおいしくするくふう。」

「目に見えない小さな生物の力をかりるくふう。」

大豆からきなこのマップ

大豆をおいしく食べるためには、
 (1) その形のまま使う・かえるくふう (③④段落)
 (2) ちがう食品にするくふう (⑤⑥段落)
 (3) とり入れる時期や育て方のくふう (⑦段落) をしている。

第3学年 すがたをかえる〇〇の事典を作って、2年生に昔の人の知恵を伝えよう

教材：「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

	分類番号	書名	著者名	出版社	備考
1	619	★みんなで調べて作って食べよう！①パン・めん	藤崎 友美	金の星社	
2	648	★ // ②バター・ヨーグルト	//	//	
3	590	★ // ③みそ・しょうゆ	松本 美和	//	
4	619	★ // ④豆腐・納豆	//	//	
5	590	★ // ⑤漬け物	藤崎 友美	//	
6	600	★食べものはかせになろう！①豆からつくる食べもの	石谷 考佑	ポプラ社	
7	//	★ // ②米・麦からつくる食べもの	//	//	
8	//	★ // ③牛乳・肉・たまごからつくる食べもの	//	//	
9	//	★ // ④魚・海そうからつくる食べもの	//	//	
10	//	★ // ⑤野菜・くだものからつくる食べもの	//	//	
11	616	★お米なんでも図鑑	//	//	
12	//	★お豆なんでも図鑑	//	//	
13	596	★身近な食べもののひみつ ①すがたをかえる米・麦	幕内 秀夫	学習研究社	
14	//	★ // ②すがたをかえる豆	//	//	
15	//	★ // ③すがたをかえる野菜・きのこ	//	//	
16	//	★ // ④すがたをかえる果実・種実	//	//	
17	//	★ // ⑤すがたをかえる魚・海そう	//	//	
18	//	★ // ⑥すがたをかえる肉	//	//	
19	//	★ // ⑦すがたをかえる牛乳・たまご	//	//	
20	498	★大豆まるごと図鑑	国分 牧衛	金の星社	
21	588	★すがたをかえるたべものしゃしんえほん①とうふができるまで	宮崎 祥子	岩崎書店	
22	//	★すがたをかえるたべものしゃしんえほん②みそができるまで	//	//	
23	//	★すがたをかえるたべものしゃしんえほん③かまぼこができるまで	//	//	
24	//	★すがたをかえるたべものしゃしんえほん④チーズができるまで	//	//	
25	//	★すがたをかえるたべものしゃしんえほん⑤パンができるまで	//	//	
26	616	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本①豆はとってもすぐれもの	吉田 よし子	//	
27	//	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本①豆はとってもすぐれもの	//	//	
28	//	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本②豆を育ててみよう！	//	//	
29	//	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本②豆を育ててみよう！	//	//	
30	//	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本③豆でかんたんクッキング	//	//	
31	//	★大研究!!「豆」のひみつがわかる本③豆でかんたんクッキング	//	//	
32	610	★たのしい野菜づくり育てて食べよう①米やトウモロコシ	高橋 久光	小峰書店	
33	//	★ // ②ダイズやラッカセイ	//	//	
34	//	★ // ③ジャガイモとサツマイモ	//	//	
35	//	★ // ④ダイコンやニンジン	//	//	
36	//	★ // ⑤キュウリやごーや	//	//	
37	//	★ // ⑥トマトやナス	//	//	
38	//	★ // ⑦キャベツやハクサイ	//	//	
39	//	★ // ⑧スイカやイチゴ	//	//	
40	//	★ // ⑨ラベンダーやミント	//	//	
41	//	★ // ⑩すぐにできるかんたん野菜	//	//	

※学校図書館にある本は★、それ以外は、臼杵図書館から借りた本

食に関する指導

平成28年度

1. 食に関する指導の全体計画

文部科学省 「学習指導要領」 「食に関する指導の目標」 ・児童生徒に「望ましい食習慣」と「食に関する自己管理能力」を身につけさせ、「生きる力」を育む 大分県教育委員会・ 臼杵市教育委員会の指針	学校教育目標 豊かな心と自ら学ぶ力を身に付けた心身ともにたくましい「生きぬく子」の育成	子どもの実態 ・給食を楽しみにしている児童が多いが、準備の時間は騒がしく落ち着きがない。 ・嫌いなものでも残さず食べたり、よく噛んで食べたりする児童が増えてきている。 ・地域の産物や食文化を知り、それらを理解する心が育ってきている。
	食に関する指導目標 生涯にわたって健康で生き生きとした生活を送ることを目指し、児童一人ひとりが正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、食事を通じて自らの健康管理ができるようにすること。また、楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し社会性を涵養すること。 ・食の重要性・・・食事の重要性、食事の楽しさの理解 ・心身の健康・・・望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力 ・食品を選ぶ力・・・食物の品質および安全性などについて自ら判断できる能力 ・感謝の心・・・食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々に感謝する心 ・社会性・・・食事のマナーや食事を通して人間関係形成能力 ・食文化・・・地域の産物、食文化を理解し尊重する心	

各学年の発達段階に応じた食に関する指導目標と期待する児童の姿

	低学年	中学年	高学年
指導目標	・食べ物に興味関心を持ち、食べ物は体に大切な働きをしていることがわかる。 ・友だちと楽しく給食を食べようとする。	・食べ物の働きについて関心を持ち、よい食べ方を工夫しようとする。 ・友だちと協力し合って、楽しい食事の場をつくろうとする。	・日常の食事に関心を持ち、バランスのとれた食事の大切さがわかる。 ・食事を通して感謝の気持ちや豊かな心、好ましい人間関係を築こうとする。
期待する児童の姿	・食べ物の名前や形、味の違い等がわかり、好き嫌いをしないで食べようとするができる。 ・その日の献立や興味あることを話すなどして、友だちと楽しく食べることができる。	・食べ物は働きによって3つのグループに分けられることを理解し、健康な体を作るために苦手なものでも食べることができる。 ・友だちと協力して、給食の準備、後片付けができる。	・食品をバランスよく組み合わせる大切さを理解し、献立の作成や簡単な調理ができる。 ・安全、清潔に留意した準備・食事・片づけの仕方を身に付け、友だちとともに実践できる。

【指導の場】

		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
教科との関連	生活	がっこうだいすき(学校探検)	野菜づくりにチャレンジ						
	社会			わたしたちのくらしとまちではたらく人びと	私たちの県 naturally 産業と人々の暮らし	私たちの食生活と食糧生産			
	理科			植物を育てよう	季節と身近な植物 動物のほねときん肉	母親のおなかの中での子どもの成長	体のつくりと働き		
	体育			毎日の生活と健康	育ちゆく体と私	心の健康	病気の予防		
	家庭					食べて元気に	工夫しよう楽しい食事		
	その他の教科			すがたをかえる大豆(国語)					
道徳の時間	○食べ物やそれに関わる人たちに感謝の気持ちを持ち、食べ物を大切にすることを育てる ○健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をする								
総合的な学習の時間	○国際理解 ○地域 ○環境 ○福祉・健康								
特別活動	給食の時間	低学年		中学年		高学年			
		*学校給食年間指導計画 参照							
	学級活動	献立に、旬の食材や地元の食材が使われていることを知り、生産者の方々に感謝する気持ちを持つ。年間を通じて、行事食や郷土料理について知ることができる。 友だちと協力して、給食の準備や片づけができる。 食事のマナーを守って、楽しく食べることができる。 教科で学んだことを給食を通してふりかえる。		・給食の準備・後片付けを知ろう ・給食室を知ろう ・食べ物について知ろう ・朝ごはんを食べよう		・給食の準備・後片付けを知ろう ・食べ物栄養を知ろう ・噛むことの大切さを知ろう		・給食の準備・後片付けを知ろう ・食べ物栄養を知ろう ・朝食をしっかり食べよう	
		○たのしいきゅうしょく(1年生・2年生対象) ○食生活学習教材							
児童会活動	○給食委員会による常時活動(準備・片付け、放送など)・集会活動での発表								
保健指導との連携	○保健指導において、かみかみメニューを活用したり、食材を使った栄養指導をしたりして、噛むことの大切さを理解させ、実践化を図る。 ○風邪の予防には、休養や運動だけでなく、バランスよく栄養をとることが大切であることを指導するとともに、残さず給食を食べることの大切さが理解できるようにする。								
個別指導	○児童の嗜好、食事の量等をふまえた指導 ○食物アレルギー等の児童に対して、除去食・代替食を提供しての指導 ○朝食欠食、肥満・痩身傾向等個別の問題を抱えた児童に対する指導								
家庭・地域との連携	○献立表・食育だより ○郷土食・行事食・世界の料理 ○給食モニター・給食試食会 ○給食料理教室等の行事への参画 ○市浜小Facebook								

2. 学校給食年間指導計画

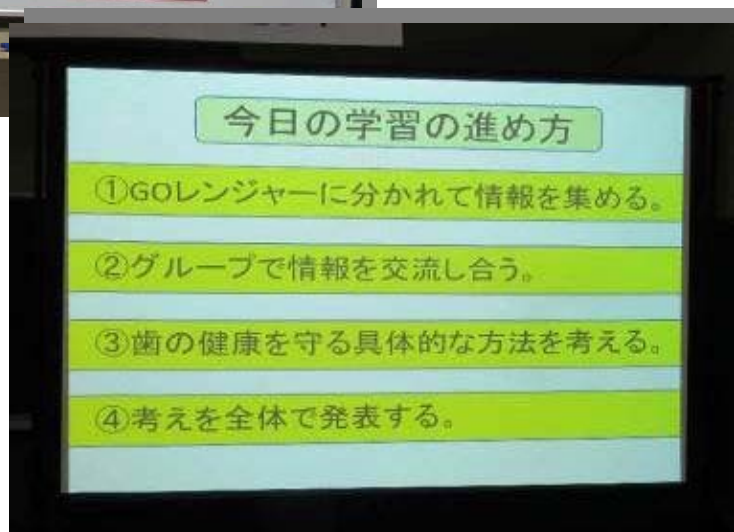
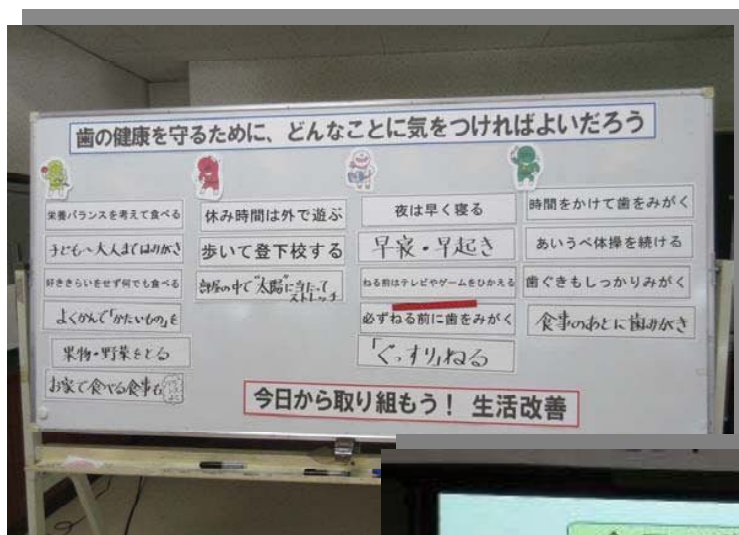
	主題	内容	低学年 指導内容	高学年 指導内容	行事食
4月	給食の準備と後片付けの仕方を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 清潔な身じたくや配膳の手順、方法、牛乳パックの始末の仕方について知る 	<ul style="list-style-type: none"> 身じたくをする 当番の仕事をする 後片付けまで協力する 牛乳パックの後片付けをきちんとする 	<ul style="list-style-type: none"> 清潔な身じたくをする 係を決め、協力して準備や後片付けをきちんとする 室内の整理整頓をする 	入学進級祝いメニュー
5月	楽しく食べよう	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく食べる工夫をする 食事のマナーについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく食べる よい姿勢で食べる はしの正しい使い方を知る 食器をていねいに扱う 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく食べる工夫をする 良い姿勢で食べる はしの上手な使い方を知る 食器をていねいに扱う 	こどもの日
6月	衛生面に気をつけて食べよう	<ul style="list-style-type: none"> 食事の前には、必ず手洗いをするこの大切さがわかる 衛生的な食事のとり方を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの順序を知る きれいなハンカチを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの大切さを知る 清潔な身じたくをする 衛生的な食事のとり方を知る 	かみかみメニュー (むし歯予防デー) 手洗いメニュー
7月	規則正しい食事をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 朝食の大切さを理解する おやつのとり方について理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食の大切さを知る おやつのとり方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食の大切さを理解する おやつのとり方を工夫する 	七夕 土用丑の日
9月	食べ物のはたらきを知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物は、はたらきによって分けられることを知る 栄養素のバランスについて理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の名前を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの食べ物の仲間があることを知る 3つの仲間をバランスよく食べると病気にかかりにくいことを知る 	お月見メニュー
10月	よくかんで食べよう	<ul style="list-style-type: none"> かむことの大切さを理解する 食後の休養の大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくりよくかんで食べる よくかむことの大切さを知る 食後の休養の大切さを知る 	<ul style="list-style-type: none"> よくかんで食べる よくかむことの大切さを理解する 食後の休養の大切さを知る 	目の愛護デー かみかみメニュー
11月	地域の特産物を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食べ物を知る 郷土食を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食べ物を知る 郷土食を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産物を知り、関心をもつ 郷土食を知り関心をもつ 	白杵の日 郷土料理 かみかみメニュー (いい歯の日)
12月	丈夫なからだをつくらう	<ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けない丈夫なからだをつくる 食事のとり方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けないからだをつくる食べ物を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 寒さに負けないための食事のとり方を知る 	冬至 クリスマスメニュー セレクト給食
1月	感謝して食べよう	<ul style="list-style-type: none"> 給食の歴史を知る 感謝の気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 昔の給食と今の給食との違いを知る 給食ができるまでの苦勞を知り、「ありがとう」の気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 給食の移り変わりについて知る 食べ物を大切に、給食に携わる人々に感謝の気持ちを持つ 	お正月メニュー 給食週間
2月	骨を丈夫にしよう	<ul style="list-style-type: none"> 骨を丈夫にする栄養素について知る 	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳をのこさず飲む 	<ul style="list-style-type: none"> 骨を丈夫にする食べ物を知り、何でも食べる。 	節分メニュー
3月	給食について振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> 一年間の振り返りをする 	<ul style="list-style-type: none"> 当番の仕事がうまくできたか、何でも食べられるようになったか等を振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 当番の仕事が責任をもってできたか、正しい食事の仕方ができたか等を振り返る 	ひなまつり 卒業祝いメニュー

【九重町立野上小学校】

高学年

学級活動

題材 「教えて！GOレンジャー わたしたちの大切な歯



高学年「学級活動」学習指導案

指導者 T1 外山 裕三 T2 池部 聖崇
衛藤ひろ子・音成 靖子
酒井 静女・後藤 美和

1. 題材名

教えて！GOレンジャー わたしたちの大切な歯

2. 題材目標

- 自分たちの歯・口の健康状態を知るとともに、歯・口の健康づくりの基本的な知識を身につけることによって、生活習慣等の改善に取り組むことができる。
- 学習したことをわかりやすくまとめ、全校に伝えることができる。

3. 指導の立場

(1) 児童について

高学年の児童（5年生8名、6年生17名）は、下級生のよい手本となれるように、全校のリーダーとしてがんばろうという気持ちをもって生活している。月に1回以上行っている高学年集会では、全校のみんながもっと仲良くなるためにはどうすればよいかを考えて縦割り班活動を計画している。4月の震災による断水時には「野上っ子災害救助隊」を結成し、給水タンクからバケツで水を校舎内のトイレに運ぶなど、様々な活動を共に行ってきた。朝の会や帰りの会でも共通した取り組みを行っており、高学年としての一体感を持たせるようにしている。本時でも、学習したことを全校のみんなに伝える活動へとつなげていくために、5・6年生合同で授業をすることにした。

本校ではランチルームでの全校給食を実施しており、九重町の小中学校の中でも残滓率が低く、特に6年生はよく食べる子が多い。食材によっては好き嫌いを示す子もいるが、出されたものは残さず食べようという意識を持っている。

生活実態アンケートの結果、食生活については、「栄養のバランスを考えて食べている」と回答した子どもは44%、「食事はよくかんで食べている」と回答した子どもは60%、「野菜を多く食べる」と回答した子どもは68%、「好き嫌いをしない」と回答した子どもは56%であった。このことから、食生活については改善の余地が大いにあるととらえている。睡眠に関しては、20%ほどの子どもが午後11時過ぎに寝ているという実態が見られ、家庭の協力を得ながら「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを指導しているところである。運動に関しては、「晴れた日は一日一回外で遊んでいる」という設問に対して「特にそう思う」と回答した子どもは16%であった。高学年になるほど室内で過ごす傾向がある。歯磨きの実態については、20%ほどの子どもが朝晩できていない状況にある。また、今年度の歯科検診の結果から、歯肉に異常がない高学年児童は4%しかおらず、定期的観察が必要な児童は44%、専門医による診断が必要な児童は52%もいることがわかった。

(2) 題材について

近年、子どもたちの食生活をめぐる環境は大きく変化しており、栄養の偏りや肥満、生活習慣病の増加など様々な問題が顕在化している。食育基本法では、「食育を、生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置づけるとともに、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている」としており、子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要であることが指摘されている。

一方、食べるために必要な健康な歯や口腔を獲得していくのは子どもの時であり、高学年は永久歯が生えそろう時期でもある。厚生労働省の調査によると、5歳から14歳までで歯周病など

歯茎に異常がある割合は約4割もあると言われ、歯周病菌が原因で肺炎や心臓病、糖尿病など様々な病気を引き起こすとも言われている。心身の健康を増進する健全な食生活を実践するために、歯や口腔の健康を守ることも大切であると考え。

歯や口腔の健康課題は、子どもにとって自分の目で見ることができる題材であるだけでなく、自分の体の成長を実感できるなど大変身近で把握しやすいものである。また、歯の健康は運動や睡眠とも関わりが深く、栄養教諭や養護教諭、体育専科教員からの情報をもとに、総合的に思考・判断し、健康的な食生活を営む実践的な態度を培うことができる題材であると考え。

(3) 指導について

まずGOレンジャータイムで高学年の歯の検査結果を円グラフで表したものを示す。高い割合で歯に問題があることを視覚的にとらえさせることで、課題意識をもたせたい。また歯科医によるビデオメッセージを準備しておき、このまま歯を放置すれば様々な病気を引き起こす可能性があることを専門家の言葉として紹介する。

そこで「歯の健康を守るために、どんなことに気をつければよいだろう」という課題を投げかける。子どもたちには4つのグループに分かれて歯の健康を守るための情報を収集させる。話し合いの根拠となる情報は、栄養教諭、養護教諭、体育専科教員、学校栄養職員から、それぞれ「食（たべるンジャー）」「歯磨き（みがくンジャー）」「運動（うごくンジャー）」「睡眠（ねるンジャー）」の4つの分野で情報を提供してもらおう。各グループから1人ずつ4人の教職員のもとに分かれて話を聞き、話の要点が書かれた情報カードを各班に持ち帰らせる。各分野での情報は以下の通りである。

たべるンジャー	…むし歯になりやすい時期がある、歯を丈夫にする栄養をとる バランスよく食べることが大切
みがくンジャー	…歯をしっかりと磨く、だ液パワー（よくかんで食べる）
うごくンジャー	…適度な運動→よい睡眠がとれる→免疫力を高める→歯周病予防
ねるンジャー	…睡眠不足→免疫力の低下→細菌に感染しやすくなる→歯周病菌に感染

各分野で得た情報カードを示しながらグループ内で交流させ、「食」「歯磨き」「運動」「睡眠」で自分たちにできる具体的な方法を出し合わせる。話し合った内容は、配付した記録用紙に情報カードとともに箇条書きでまとめさせる。

それぞれのグループで考えた「歯の健康を守るために気をつけること」を全体の場で発表させる。他のグループから出された考えを合わせて、歯の健康を守るためには、「バランスよく食べ、たくさん体を動かし、十分に睡眠をとり、きちんと歯を磨けばよい」というまとめにいたるであろう。また栄養教諭らにも話し合ったことが効果的かどうかを評価してもらうことで、自分たちが考えてきたことに自信を持たせたい。

本時で学習したことを振り返り、自分の生活習慣を改善していく方法を考える。さらに、1～4年生の歯科検診の結果をグラフで示したものを提示し、グラフを見て高学年としてどのように感じたのかを問いかけることで、「自分たちが学んでわかったことを下級生にも知らせよう」という思いに至らせたい。

この学習を通して、今一度自分の生活を見つめ直し、食べることや歯を磨くこと・しっかり運動すること・十分な睡眠をとることが大切であることを確認し、これからの生活をよりよくしようとする子どもを育てたい。

4. 指導計画

- (1) 歯の検査結果を知り、自分たちの歯には問題があることを知る。(GOレンジャータイム)
- (2) 歯の健康を守るためには、どんなことに気をつければよいだろう。(学級活動)
- (3) 学習したことを全校のみんなに伝えよう。(集会活動)

4. 本時案

(1) 題目 歯の健康を守るためには、どんなことに気をつければよいだらう

(2) 主眼 しょうぶな歯を保つには、歯磨きだけではなく栄養バランスのとれた食生活や適度な運動、十分な睡眠なども必要であることを、栄養教諭や養護教諭など専門の教員から情報を得る活動を通して知り、生活改善のための取り組みをグループで考えることができる。

(3) 展開

学習活動	時	指導及び指導上の留意点	備考
<p>前時までに子どもたちは、自分たちの歯の検査結果をグラフによって知るとともに、歯科医のビデオメッセージで歯に問題があることに気付いている。本時は、「食」「運動」「睡眠」「歯磨き」の4つの分野からそれぞれ自己免疫力の向上のために効果的な情報を得て、自分たちにできる具体的な方策を探る時間とする。</p>			
<p>1. 前時までの学習を想起し、本時の課題をつかむ。</p>	2	<p>○本時の課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>歯の健康を守るために、どんなことに気をつければよいだらう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・歯のグラフ、歯科医の言葉を想起しやすいように、掲示しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ ・掲示物 ・本時の課題
<p>2. 「食」「運動」「睡眠」「歯磨き」の4つのグループに分かれ、専門の先生の話を書く。</p>	10	<p>○課題を提示し、4つのグループに分かれて情報を集めさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループは以下の通りとする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「たべるンジャー」…栄養教諭（食） 「うごくンジャー」…体育専科教員（運動） 「ねるンジャー」…養護教諭（睡眠） 「みがくンジャー」…栄養職員（歯磨き）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで話のポイントをまとめた情報カードを用意しておき、子どもに渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報カード
<p>3. 各自もとのグループにもどり、学んだことを交流し合う。</p>	25	<p>○グループで学んだ情報を共有させ、問題を解決する方法を話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードを示しながら調べたことを説明させる。 ・発表用の記録用紙にグループの意見をまとめさせる。 ・説明に困った子がいたら、栄養教諭と支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録用紙 ・マジックペン
<p>4. 問題を解決するためにどうすればよいか、班で話し合った結果を発表する。</p>	8	<p>○各グループの意見を発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つのグループに発表させた後、別の考えがあれば他のグループに付け加えさせる。 ・記録用紙を全体に示しながら説明させる。 ・栄養教諭に有効的な取り組みを評価してもらう。 ・他のグループの考えを聞いて思ったことなど、数人に感想を述べさせる。 <p>○本時の学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・バランス良く何でも食べる。 ・よくかんで食べる。 ・晴れた日は運動場で遊ぶ。 ・早く寝る。 ・給食の後、歯をみがく。 …等</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから出された考えをまとめとする。 	

①食に関する全体指導計画

野上小学校
平成28(2016)年度

<学校教育目標>

のびる がんばる みんななかよし 野上っ子の育成

学習指導要領
食育基本法
食育推進基本計画

<児童の実態>

- ・給食の残食は少ない。
- ・かたいものや野菜料理は食べるのに時間がかかる子どもがいる。
- ・苦手なものがでると食べるのに時間のかかる子どもがいる。
- ・食べる量に個人差がある(小食な子がいる)
- ・食事のマナーが十分でない。(箸、食器の持ち方)
- ・朝食の内容が「主食のみ」の児童が25%

<地域・保護者の願い>

- ・少しでも好き嫌いをなくし、健やかに育てほしい。
- ・自分で起きて、朝ごはんをたべてほしい。
- ・郷土料理を知ってほしい。

<食に関する指導の目標>

「食」を大切に子どもを育てる。

- ①早寝・早起き・しっかり朝ごはんの重要性がわかる(食事の重要性)
- ②よくかんで食べることの重要性を理解し、むし歯予防に努める(心身の健康)
- ③自然の恵みに感謝する気持ちを持ち、残さず食事をとることができる(感謝の心)
- ④簡単な食事マナーについて理解し、みんなと楽しく食べることができる(社会性)
- ⑤自分の住む地域の農産物を知り、郷土料理を作れるようになる。(食文化)

各学年の発達段階に応じた食に関する指導でつきたい力

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に興味関心を持ち、好き嫌いしないで食べることができる。(③) ・みんなと楽しく食べることができるようにする。(④) ・食事を作ってくれる人への感謝の気持ちをもつ。(③) ・早寝・早起き・朝ごはんが、健康によいことがわかる(①) ・よくかんで食べることの大切さがわかる(②) ・基本的なマナーを守って食べる。(④) 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい食事が、心身の健康に大切なことがわかる。(①) ・食事は多くの人たちの努力があって作られていることがわかり、感謝の気持ちを表すことができる。(③) ・地域の産物や郷土料理に興味を持つ(⑤) ・よくかんで食べることの重要性がわかる(②) ・食事のマナーを守って、楽しく食べることができる(④) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の食事に関心を持ち、簡単な料理をすることができる。(①) ・食事を通して豊かな心と好ましい人間関係を育てるようにする。(③④) ・早寝・早起き・あさごはんが、心身の健康に大切なことがわかり、バランスのとれた朝ごはんをとろうとする。(①) ・地域の産物を知り、郷土料理をつくることのできる(⑤) ・よくかんで食べることの重要性を理解し、よくかんで食べようとする(②)

・教科・領域等との関連

家庭科

- 5年「おいしい楽しい調理の力」
「食べて元気、ごはんのみそ汁」
(みそ作り)
- 6年「朝食から健康な1日の生活を」
「まかせてね、今日の食事」

学級活動

- 1年 6月「給食について考えよう」
- 2年 6月「楽しい給食」
7月「好き嫌いをなくそう」
- 3年 7月「1日の生活を見直そう」
10月「感謝して給食を食べる」
2月「豆の栄養や食べ方について知ろう」
- 4年 1月「病気の予防」
- 5年 5月「自分の成長」
6月「むし歯の予防と治療」

保健体育

- 3年「毎日の生活と健康」
- 4年「育ちゆく体とわたし」
- 6年「病気の予防」

生活科

- 1年 4月「学校大好き」
12月「自分の1日をふりかえろう」
1月「昔の遊びやくらしを知ろう」
- 2年 5月「おいしく育て、わたしの野菜」
6月「生きものなかよし大作戦」
11月「さつまいもを収穫しよう」
11月「町たんけん(給食センター見学)」

給食指導

- ・協力して準備をしよう。
- ・きまりを守ってなかよく食べよう。
- ・食べものの名前や働きについて知ろう。
- ・郷土料理を知ろう。
- ・感謝して食べよう。

国語

- 1年「だれがたべたのでしょう」

図工

- 1年「ごちそうパーティをはじめよう」

理科

- 3年「植物を育てよう」
- 4年「ツルレイシの育て方」

社会科

- 3年「わたしたちの市で
つくられている野菜」
- 4年「ごみのしまつと活用」
「わたしたちの住んでいる県」
- 5年「わたしたちの食生活と米」
「わたしたちの食生活と水産物」
「輸入にたよる食生活」

総合的な学習の時間

- 4年「夢ボークをさぐる」
- 5年「米博士になろう」
「いのちをいただいているのに
感謝しよう」

道徳

- 1年「きちんとね」「ちゃんとの達人」
- 2年「ピーマンマンとよふかし大魔王」
- 3年「いただきます」
- 4年「おはしちゃんが使えないの」
- 6年「規則正しい生活はすべての基本」

委員会活動	・常時活動(「栄養黒板」「栄養のはなし」) ・保健給食集会
家庭、地域との連携	・1学期末PTAの授業参観で、全校で食育の提案授業を行う。 ・「給食だより」「学級だより」「保健だより」「PTA広報誌」の内容を充実させ、給食や食生活習慣の大切さを知らせる。 ・PTA厚生委員会と協力し「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組む。 ・食に関する講演会
地場産物の活用	・学校給食に地域でとれた季節の野菜や郷土料理を取り入れることにより、自分の住む地域に関心をもたせる。

食に関する指導

年間指導計画

月目標	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級活動	上手に準備・片付けをしよう	生活リズムを整えよう(朝ごはん)	歯を大切にしよう(よくかんで食べよう)衛生に気をつけよう	上手なおやつ作り方を考えよう	生活のリズムを整えよう(早寝・早起き・朝ごはん)	バランスよく食べよう(食べものの働きを知ろう)	感謝して食べよう地域の産物を知ろう	冬の食材を知ろう体の調子を整える食べ物を知らう	学校給食について知りう	食事の大切さについて考えよう	1年間の反省をしよう
学級活動	はじめての給食・準備とたたづけ・手洗い、身じたく	朝ごはんを食べよう給食について考えよう(1年)楽しい給食(2年)	長くかんで食べよう給食について考えよう(1年)楽しい給食(2年)	生活リズムを整えよう(1年)好き嫌いをなくそう(2年)	規則正しい生活リズムを取りもどそう	食べもののなかまを知ろう	感謝して食べよう給食をつかっている人を知ろう	給食に使われている野菜を知らう	残さず食べよう	病気に負けない、元気な体をつくる食べ方を知ろう	1年間の給食を振り返り、反省しよう
低学年	学校大好き(1年)	おいしく育てわたしの野菜(2年)	生きものなかよし大作戦(2年)野菜の植え付け	野菜を収穫しよう			給食センターへ行こう(2年)さつまいもを収穫しよう	自分の1日をふりかえらう(1年)	昔のくらし(食事)を体験しよう(1年)		
生活											
その他											
学級活動	安全な運搬・配膳をしよう正しい手洗い衛生的な準備・後片付けをしよう	朝ごはんの大切さを知らう	よくかんで食べよう牛乳の栄養を知らう手をきれいに洗おう(4年)	1日の生活を見直そうくたくまちゃんの日>(3年)バランスのよい朝食(4年)	朝ごはんを食べよう規則正しい生活リズムをとれよう	食べものの仲間とその働きを知り感謝して給食を食べよう(3年)	地域でとれる産物を知ろう野菜の働きを知り、残さず食べよう	寒さに負けない元気な体をつくる食事の仕方を知ろう	給食をつくっている人の苦労を知り、感謝して食べよう病気の予防(4年)	食事と健康の関わりを知らう豆の栄養や食べ方について知らう(3年)	1年の給食を振り返り、反省しよう
保健											
中学年											
その他											
学級活動	安全な運搬・配膳をしよう正しい手洗い衛生的な準備・後片付けをしよう	植物を育てよう・オクラ(3年理科)ツルレインの育て方(4年理科)ゴミのしまつと活用(4年社会)	よくかんで食べよう牛乳の栄養を知らう手をきれいに洗おう(5年)	上手なおやつ作り方を考える(むし菌予防)	朝ごはんをしっかりと食べよう規則正しい生活リズムをとれよう	食べものの仲間とその働きを知りいろいろな食品を組み合わせて食べることの大切さを知ろう	地域でとれる産物を知ろう野菜の働きを知り、残さず食べよう郷土料理や行事食を知ろう	寒さに負けない元気な体をつくる食事の仕方を知ろう	給食をつくっている人の苦労を知り、感謝して食べよう食糧の生産について考えよう	生活習慣病と食生活の関係について知らう	1年の給食を振り返り、反省しよう
保健											
高学年											
家庭科											
その他											
家庭との連携											

平成28年度
「栄養教諭を活用した食育推進事業」報告書

【編集】

大分県教育庁体育保健課学校保健・食育班

〒870-8503 大分県大分市府内町3丁目10番1号

T E L 097-506-5636 F A X 097-506-1866